

平成3年度
国際緊急援助隊業務実績

平成4年4月

国際協力事業団
国際緊急援助隊事務局

平成3年度
国際緊急援助隊業務実績

JICA LIBRARY



1100502121

24204

平成4年4月

国際協力事業団
国際緊急援助隊事務局



目 次

1. 国際緊急援助隊各災害派遣の経緯及び概要	1
(1) 国際緊急援助隊派遣実績一覧表	3
(2) ベルーコレラ禍災害	9
(3) ベルー地震災害	15
(4) イラン流入避難民	23
(5) トルコ流入避難民	101
(6) ミャンマー火事災害	147
(7) サウディ・アラビアペルシャ湾原油流出災害	155
(8) コスタ・リカ地震災害	169
(9) パナマ地震災害	177
(10) バングラデシュ・サイクロン災害	183
(11) フィリピン火山噴火災害	247
(12) チリ土石流災害	255
(13) 中国洪水災害	261
(14) ルーマニア洪水災害	269
(15) ミャンマー洪水災害	277
(16) カンボディア洪水災害	285
(17) フィリピン台風災害	293
(18) 西サモア・サイクロン災害	323
(19) イエメン地震・地滑り災害	331
(20) トルコ地震災害	337
(21) ケニア流入ソマリア避難民	347
2. 平成3年度JDR医療・機材・リーダー各研修会	353

1. 国際緊急援助隊各災害派遣の 経緯及び概要

(1) 國際緊急援助隊派遣実績一覽表

平成3年度 国際緊急援助隊派遣及び物資供与実績

国際緊急援助室

派遣国	ベ	ル	ー	ベ	ル	ー	イ	ラ	ン		
災害区分	コレラ			地震			クルド人を主とするイラク避難民流入				
災害発生時期	1月31～		4月4日				4月～				
災害の規模	死者 約1,200人 罹患者数 約167,000人 入院患者数 約63,000人		死者 約30人 負傷者 約400人				避難民流入数 約100万人				
派遣の目的							①負傷者に対する医療活動 ②医療事情調査 ③医薬品など供与				
派遣期間 又は 供与時期	物資供与時期 1991年4月		物資供与時期 1991年4月				一次チーム 4月12日～4月25日	二次チーム 4月18日～5月8日	三次チーム 5月2日～5月22日	四次チーム (先発) 5月16日～6月5日 (後発) 5月20日～6月5日	五次チーム (先発) 5月30日～6月19日 (後発) 6月6日～6月19日
チームの構成							医療チーム 6名 団長 1名 医師 1名 看護婦 1名 看護士 1名 業務調整員 2名 (含JICA 1名)	医療チーム 12名 医師 3名 看護婦 6名 業務調整員 3名 (含JICA 1名)	医療チーム 12名 医師 3名 看護婦 6名 業務調整員 3名 (含JICA 1名)	医療チーム 12名 医師 4名 看護婦 6名 業務調整員 2名 (含JICA 1名)	医療チーム 10名 医師 4名 看護婦 3名 業務調整員 3名 (含JICA 2名)
供与機材	医療資材		医薬品、医療資材、毛布 テント				医薬品、医療資材、 缶詰、粉ミルク	医薬品、医療資材	医薬品、医療資材	医薬品	医薬品

国際緊急援助室

派遣国	トルコ	ミャンマー	サウディ・アラビア	ロシア	バハマ
災害区分	クルド人を主とするイラク難民	火災	湾岸戦争に伴うバルシャ 湾流出原油防除	地震	地震
災害発生時期	4月～	4月7日	1991年1月～	4月22日	4月22日
災害の規模	避難民流入数 約450,000人	死者 約20人 被災者 約25,000人 家屋焼失 5,125件	行方不明によるクェトク領内 石油基地からの放出原油 は深刻な湾岸の環境汚 染を引き起している。	死者 約40人 被災者 約10,000人 家屋喪失者 約17,500人	死者 約30人 被災者 約17,500人
派遣の目的	①負傷者への医療活動 ②医療事情調査 ③医薬品など供与 ④感染症(コレラ等)の 発生調査		応急対策・災害復旧に関 する技術的助言及び防災 対策に関する提言 (流出原油の回収活動)		
派遣期間 又は 供与時期	物資供与時期 1991年4月	物資供与時期 1991年4月	二次チーム 4月21日～5月11日	物資供与時期 1991年4月	物資供与時期 1991年4月
チームの構成	医療チーム 5月9日～5月29日 医師 8名 看護師 3名 薬剤師 3名 業務調整員 2名 (合JICA 1名)	物資供与時期 1991年4月	専門家チーム 9名 専門家 7名 産産省 3名 運輸省 4名 外務省 1名 業務調整員 1名 (JICA)		
供与機材	テント、シート、毛布、 簡易水槽	医薬品、医療資材、毛布 X-セフチン、洗剤、 石鹸、食器セット、ケル 懐中電灯	ポンプ等	発電機、懐中電灯、毛布 簡易水槽、シャワー、ケル	医薬品、医療資材、毛布 ケル、X-セフチン

派遣国	バングラデシュ	フィリピン	チリ	中国	ルーマニア	ミャンマー
災害区分	サイクロン	火山噴火	土石流	洪水	洪水	洪水
災害発生時期	4月29日	6月8日～	6月18日	6月～	7月～	8月～
災害の規模	死者 約120,000人 被災者 約1,000,000人	死者 約140人 負傷者 約60人 被災者 約10万人	死者 約70人 行方不明者 約120人 負傷者 約750人 被災者 約2万人	死者 約120人 負傷者 約950人 被災者 約37万人	死者 約70人 行方不明者 約50人 被災者 約2万人	死者 1人 被災者 約28万人
派遣の目的	①被災国側状況調査 ②災害復興計画への参画 ③被災者に対する救出活動 ④負傷者に対する医療活動 ⑤援助物資の供与					
派遣期間 又は 供与時期	物資供与時期 1991年5月	物資供与時期 1991年6月	物資供与時期 1991年6月	物資供与時期 1991年6月	物資供与時期 1991年8月	物資供与時期 1991年8月
チームの構成	救助チーム (先発) 5月15日～6月4日 (後発) 5月17日～6月6日	救助チーム 50名 救助チーム 45名 (含医師・看護婦各1名) 外務省 3名 業務調整員 2名 (含JICA 1名)				
供与機材	医薬品、医療資材、簡易水櫃、浄水器、浄水剤、発電機、コールド	医薬品、医療資材、浄水剤、発電機、コールド、洗剤、洗剤、洗剤、洗剤	医薬品、医療資材、毛布、浄水剤、ファミリー、洗剤	医薬品、医療資材、毛布、浄水剤	医薬品、医療資材、毛布、ファミリー、ファミリー	医薬品、医療資材、浄水剤、毛布、石鹸、タオル

国際緊急援助室

派遣国	カンボディア	フィリピン	西サモア	イエメン	トルコ	ケニア
災害区分	洪水	台風	サイクロン	地震・地滑り	地震	ソマリア避難民流入
災害発生時期	8月19日～	11月5日	12月6日～	11月22日～	3月13日	2月
災害の規模	死者 22人 被災者 50万人以上	死者 2,699人 負傷者 37人 行方不明者 112人 被災者 177,786人	死者 12人 被災者 約17万人	死者 11人 負傷者 35人 被災者 約45万人	死者 約300人 負傷者 約420人 被災者 約9万人	ソマリア避難民約15万人 がケニア国内に流入
派遣の目的	①被災国側状況調査 ②負傷者に対する医療活動 ③医薬品など援助物資の供与					
派遣期間 又は 供与時期	物資供与時期 1991年8月	物資供与時期 1991年11月	物資供与時期 1991年12月	物資供与時期 1992年1月	物資供与時期 1992年3月	物資供与時期 1992年3月
チームの構成	<p>医療チーム 11月11日～11月23日</p> <p>医療チーム 6名 外務省 1名 医師 2名 看護婦 2名 業務調整員 1名 (JTCA)</p>					
供与機材	医薬品、医療資材、毛布 テント	医薬品、医療資材、浄水 剤、毛布、テント、ポリ タンク、スリーピングマ ット	ポリタンク、簡易水槽	グループテント、毛布	毛布、ファミリーテント グループテント、発電機 簡易水槽	医薬品、医療資材、毛布 プラスチックシート、 ファミリーテント

(2) ペルーコレラ禍災害

物資供与の経緯および概要

1月31日（現地時間）より、ペルー太平洋岸の都市を中心に拡がったコレラ禍災害は、一旦下火になったものの3月末の復活祭より再び被害が拡大し、被災地域はペルー太平洋岸全域からカハマルカ、フニン、プーノ、アプリマック、ロレート、アマソーナス等の山岳・熱帯地域諸見にまで拡大した。

入院患者の中には、コレラ菌が残ったままで退院させているケースがあり、これがコレラ禍災害拡大の原因の一つとなっている。

我が国としては「ペ」国大統領の要請に対し、ペルーの今次コレラ汚染が極めて憂慮すべき状況にあることに鑑み、人道的見地および二国間友好協力の観点から平成2年度3月に2次に及ぶ緊急援助物資供与を行った。しかし、引き続きペルー政府からの要請に応じコレラ培地等の緊急援助物資の追加援助を行なうこととした。

1	国名	ペルー共和国
2	災害区分	コレラ禍
3	災害発生時期	1991年1月31日～
4	災害の規模	死者 約 1,100人 患者 約 15万人
5	活動区分	援助物資の供与 コレラ培地TCBS、コレラ免疫血清
6	供与時期	1991年4月

被害状況：（4月23日UNDRO 情報）

死者数 1,045人

患者数 146,877人

（内入院患者数 54,395人）

4月4日外務省より、ペルー国への追加援助を実施する旨連絡越した。

記

1. 援助物資総額 3,570万円(含輸送費)

①本邦調達分

コレラ培地TCBS 800本

コレラ免疫血清 2,000セット

詳細は別紙経費概算参照

2. 外務省及びJICAの対応

ペルー国に対しては、これまで2回の緊急援助(総額3,560万円)を実施してきたところであるが、「ペ」国内におけるコレラの蔓延は一向に衰えることなく、死者、感染者は増加の一途をたどっている。かかる事態において、在ペルー日本大使館はフジモリ大統領と今次訪日について話し合ったところ、席上同大統領より「コレラは当国ではおおきな問題となっており、コレラ菌の検出等の分野で世界的に高水準にある日本からの協力を頂けるとありがたい」との要請があり、我が国としてもこれに応えるかたちで追加援助を行うこととなった。

3. ペルー国の要請内容

コレラ培地TCBS及び、コレラ免疫血清の供与につき要請があった。

4. ペルー国における現況

①コレラの被害状況(ペルー国厚生省発表4月1日現在)

死者780人、入院患者36,467人、感染者107,152人

②中島WHO事務総長がペルー国を訪問した際、フジモリ大統領は今後の同国におけるコレラ対策について同事務総長と話し合った経緯がある。(ペルー国ヤマモト厚生大臣、日本国大使同席)

各国および国際機関からの援助状況

U S \$

国連機関および

国際機関	: WHO/PAHO	: 医療資材	...
	UNICEF	: 医薬品他	150,000
		緊急援助	438,000
	EEC	: 緊急援助 (NGO経由)	609,756

各国政府

: 米国	: 医薬品、医療資材、医療チーム	...
英国	: 救援資金 (PAHOへ)	210,840
カナダ	: 水、衛生面へのサポート	196,521
スウェーデン	: 医療資材 (50t)	71,466
	医薬品 (輸送)	38,502
ノルウェー	: 救援資金 (VIA Norwegian Lutheran Mi)	77,441
	救援資金 (NGOへ)	77,586
オランダ	: 救援資金 (WHO、PAHOへ)	119,048
スイス	: 医療チーム、医療資材	198,413
ドイツ	: 医薬品、浄水剤他	500,333
	救援資金 (WHO/PAHOへ)	150,000
フランス	: 医療チーム、医薬品、医療資材	39,700
アイルランド	: 救援資金 (UNDRO/WHO/PAHO 経由)	31,000
オーストリア	: 医薬品、他 (赤十字、寄贈者含む)	...
イタリア	: 医薬品他	5,000
スペイン	: 医薬品、医療資材 6.5MT	172,043
	医療資材 (5t)	81,720
メキシコ	: 医薬品、医療資材 2MT	...
ヴェネズエラ	: 医薬品、他	...
ボリヴィア	: 医療チーム、医療資材	...
アルゼンティン	: 医療資材	...
HOLY SEE	: 救援資金、他	30,000

非政府団体 : 30727 赤十字	: 医薬品	...
オーストラリア赤十字	: 医薬品他	19,231
Caritasオーストラリア	: 災害援助	30,000
Caritasドイツ	: 災害援助	203,000
Caritasイタリア	: 災害援助	44,000
Caritasオランダ	: 災害援助	25,000
Secours Catholique France	: 医薬品、医療資材他	65,476
	災害援助	75,950
Catholic Relief aservices	: 救援資金 (医療資材他)	14,653
Mwdicins Du Monde	: 医療チーム、医療資材	...
Save The Children	: 抗生物質	1,600
World Vision	: 医薬品 (進行中のプログラムへ)	90,000
	援助物資	90,000
Diakonisches Werk	: Health Programmeへのサポート	105,060
Church World Service	: 災害援助	5,000
Inter American Dev. Bank	: ORS、ト化、病院他	1,000,000
Northwest Medical Teams	: 医療資材	10,000
Christian Children's Fund	: 医療資材、トイレ資材	15,250
Care	: 医薬品、衛生キャンペーン	...
Direct Relief International	: 医療資材	80,071
Lutheran World Relief	: 毛布、Health Kit(1380)	...
MAP International (USA)	: 援助物資	...

(3) ペルー地震災害

物資供与の経緯および概要

4月4日ペルー北部（リマ北方約700Km）サン・マルティン県でマグニチュード 6.8の地震が発生し、ヌエボ・カハマルカ市、リオハ市及びモヨバンバ市を中心に多数の人的被害と家屋などへの多大な物的被害がもたらされた。加えて4月4日から8日の間にもマグニチュード 4.5～6.2の余震が8回観測された。

我が国としては「ペ」国大統領の要請に対し、同国が今次災害により多くの人的・物的被害を被ったこと、また人道的見地および両国の友好関係に鑑み緊急援助物資の供与を行うこととした。

1	国名	ペルー共和国
2	災害区分	地震
3	災害発生時期	1991年4月4日（現地時間）
4	災害の規模	死者 100人以上 負傷者 600人以上 被災者 約5万4千人
5	活動区分	援助物資の供与 医薬品、医療資材、毛布、テント
6	供与時期	1991年4月

被害状況：

人的被害		物的被害	
死者	100人以上	家屋倒壊	
負傷者	600人以上	ヌエボ・カハマルカ市	90%
被災者	約5万4千人	リオハ市	80%
ヌエボ・カハマルカ市	2万5千人	モヨバンバ市	40%
リオハ市	1万6千人		
モヨバンバ市	1万3千人		

（4月7日現在）

4月4日(木)ペルー国北方地域で地震が発生し、外務省公電およびペルーJICA事務所より以下の通り報告がなされた。

記

1. 概況(ペルー国国家防災庁調べ)

- ①地震発生時期：1991年4月4日(木)から5日(金)未明にかけて
4回発生
- ②震源地：サンマルティン州 モヨバンバ 南東50Km
- ③被災地：同州 モヨバンバ市、リオハ市、ヌエボカハマルカ市
(添付地図参照)
- ④地震の規模
- | | | |
|------|-------------|---------------|
| 第1回目 | マグニチュード 4.5 | (4月4日 10時24分) |
| 第2回目 | マグニチュード 4.7 | (4月4日 18時45分) |
| 第3回目 | マグニチュード 6.2 | (4月4日 23時19分) |
| 第4回目 | マグニチュード 4.7 | (4月5日 00時14分) |

2. 被害状況

- ①人的被害：死者 28人
負傷者 347人
被災者 約2万5千人
- ②物的被害：多数の家屋に被害が出た模様
家屋損壊(現地新聞報道)
- | | |
|-----------|-----|
| モヨバンバ市 | 40% |
| リオハ市 | 80% |
| ヌエボカハマルカ市 | 90% |

3. 我が国への要請内容

来日中のフジモリ「ベ」大統領から、我が国に対し本件に係る援助物資の要請があった。

内容：テント、屋根用亜鉛鉄板、毛布、医薬品

4. 外務省及びJICAの対応

「ペ」側の要請により、以下の災害援助物資供与を検討中である。

総額 : 約1,420万円(含輸送費)

援助物資内容: 医薬品及び医療資機材、ファミリーテント(寒冷地用)、
毛布(寒冷地用)

5. ペルー国側の対応

4月5日防災長官現地訪問

4月5日から6日の間に計4回に亘りテント、毛布、医薬品を現地に空送した。

諸外国への援助要請については、現在準備中である。なお、チリ国よりすでにテントの援助が決定されている。

4月8日(月)午後3時、外務省よりペルー国への緊急援助を実施する旨連絡越した。

記

1. 外務省及びJICAの対応

(1) 被災者救済に必要な緊急性を有する援助物資を「ペ」政府の要請に応じ援助する。

総額 : 1,430万円(含輸送費)

① UNIPAC(ユニパック)調達分

医薬品及び医療資機材 2 セット

② アメリカ備蓄分

ファミリーテント 寒冷地用(6人用) 40 張

毛布(寒冷地用) 3,000 枚

(1600-1700年頃の南米大陸地図)
南米大陸(1600年頃)

ガラパゴス諸島
Galapagos (1577年)

サライメス島
Sala y Gomez
(チリ)

サンフェリックス諸島
San Felix (チリ)

ファンフェルナンデス諸島
Juan Fernandez (チリ)

ウイリントン島
Wellington

フアンフェルナンデス諸島
Punta Arenas

南サトウキビ諸島
South Sandwich

南オーケー諸島
South Orkneys

120° 110° 100° 90° 80° 70° 60° 50° 40° 30°

各国および国際機関からの援助状況

US \$

国連機関

および国際機関 : E E C : N G Oへ救援資金 305,000

各国政府

: イタリア : テント、発電機、調理器具、
道具類 (UNDRO経由) 80,000

N G O

: M S F オランダ : 調査団 . . .

: ドイツ赤十字 : 救援資金 17,751

: Church World

Service : 救援資金 5,000

(4) イラン流入避難民

派遣の経緯および概要

90年8月2日イラクのクウェイト侵攻に端を発した湾岸危機は91年1月17日より湾岸戦争に突入し、2月24日の地上戦開始以後2月28日にこの湾岸戦争は終結するに至った。しかしこの湾岸戦争により、イラク北部山岳地帯を越えて、クルド人を主とする多数の避難民がイラク国境イラン国内北部山岳地域に流入した。4月に入ると、イラク避難民の数は急激に増大し、一時はその数約100万人に達した。また越境の際、寒さと餓えのために女性・子供を含む多数の死者が発生したり、イラン・イラク戦争時に敷設されていた地雷に触れて負傷するという悲劇が多数見られた。

我が国としては、クルド人を主とするイラン国内流入避難民の被災状況の深刻さに鑑み、人道的見地より緊急援助を行うこととし、その被災内容から医療チーム（1次チームより5次チームまで計52名）を派遣することとした。

1	国名	イラン回教共和国
2	災害区分	流入避難民
3	災害発生時期	1991年4月～
4	災害の規模	流入避難民 約100万人
5	派遣区分	医療チーム（1～5次）、業務調整
6	派遣の目的	①負傷者に対する医療活動 ②被災状況調査 ③医療事情調査 ④医薬品などの供与
7	派遣期間	医療1次チーム（6名） 4/12 ～ 4/25 2次チーム（12名） 4/18 ～ 5/8 3次チーム（12名） 5/2 ～ 5/22 4次チーム（12名） 5/16 ～ 6/5 5次チーム（10名） 5/30 ～ 6/19
8	チームの構成	医療1次チーム 団長(1)、医師(1)、看護婦(2)、調整員(2) 2次チーム 医師(3)、看護婦(6)、調整員(3) 3次チーム 医師(3)、看護婦(6)、調整員(3) 4次チーム 医師(4)、看護婦(6)、調整員(2) 5次チーム 医師(4)、看護婦(3)、調整員(3)
9	受入期間	イラン赤新月社
10	活動の場所	アゼルバイジャン州
11	活動の内容	負傷者に対する医療活動、被害状況調査
12	携行機材	医薬品、医療資材、テント、プラスチックシート 簡易水槽、毛布、粉ミルク

医療チーム：

1次チーム：団長(1)、医師(1)、看護婦/士(2)、調整員(2)

派遣期間：4/12 ~ 4/25

(加藤看護婦は派遣期間を延長し、2次チームに合流)

	氏名	所属先	指導科目
団長	鈴木 重之	外務省 経済協力局 技術協力課	総括
副団長	鶴飼 卓	大阪府立千里救命救急センター	総括・ 救急医療
団員	加藤 奈津子	J M T D R登録看護婦	救急看護
	今野 孝雄	白井聖人会病院 看護師	救急看護
	飯塚 裕一	外務省 中近東アフリカ局 中近東第二課	業務調整
	鈴木 秀幸	国際協力事業団 鉱工業計画調査部 鉱工業計画課	業務調整

2次チーム：医師(3)、看護婦(6)、調整員(3)

派遣期間：4/18 ~ 5/8

(金田、安田両医師は5月15日まで派遣期間を延長)

	氏名	所属先	指導科目
団長	柿田 紀男	済生会 川口総合病院	総括 救急医療
団員	金田 正樹	聖マリアンナ医科大学 東横病院	救急医療
	安田 直史	大阪大学医学部附属病院	救急医療
	斎藤 順子	済生会 川口総合病院	救急看護
	尾形 明子	済生会 西条病院	救急看護
	木本 美恵子	今福診療所	救急看護
	小森 睦代	古賀総合病院	救急看護
	駒井 恵子	済生会 川口総合病院	救急看護
	加藤 奈津子	J M T D R登録看護婦	救急看護
	山岸 勉	梶田家具製作所	業務調整
	葛西 義弘	カサイ整骨院	業務調整
	関 徹男	国際協力事業団 医療協力部 国際緊急援助室	業務調整

3次チーム：医師(3)、看護婦(6)、調整員(3)
 派遣期間：5/2 ~ 5/22
 (森實、塩見両看護婦は5月29日まで派遣期間を延長)

	氏名	所属先	指導科目
団長	灰塚 省二郎	広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院	総括 救急医療
団員	石橋 勇樹	長野県立阿南病院	救急医療
	山口 孝治	総合病院 横須賀共済病院	救急医療
	木村 忠雄	聖隷福祉事業団 三方原ペリヘルム	救急看護
	河原 順子	広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院	救急看護
	森實 紗智子	岡山済生会病院	救急看護
	児玉 みち子	北里大学病院 救命救急センター	救急看護
	塩見 一成	大阪府立千里救命救急センター	救急看護
	田中 かほる	保健衛生大学 坂文種報徳會病院	救急看護
	藤澤 眞利子	J M T D R登録調整員	業務調整
	新宮 敏也	植木特許事務所	業務調整
	丸山 英朗	国際協力事業団 研修事業部 研修第二課	業務調整

4次チーム：医師(4)、看護婦(6)、調整員(2)
 派遣期間：5/16 ~ 6/5

	氏名	所属先	指導科目
団長	山本 保博	日本医科大学付属多摩永山病院 救命救急センター	総括 救急医療
団員	本多 憲児	本多記念東北循環器科病院	救急医療
	奥村 悦之	高知学園短期大学	救急医療
	田辺 清勝	鹿児島大学医学部	救急医療
	合田 幸子	大阪府済生会吹田病院	救急看護
	横手 道子	国立療養所 霧島病院	救急看護
	山崎 達枝	東京都立松沢病院	救急看護
	松野 時子	北里大学病院 救命救急センター	救急看護
	田辺 真理子	日本医科大学付属病院	救急看護
	岩見 里依子	大阪府済生会吹田病院	救急看護
	椋原 健	J M T D R登録調整員	業務調整
	江頭 栄二	国際協力事業団 沖縄国際センター	業務調整

5次チーム：医師(4)、看護婦(3)、調整員(3)

派遣期間：5/30～6/19

(鶴飼団長、小野両氏は6月6日より派遣)

	氏名	所属先	指導科目
団長	鶴飼 卓	大阪府立千里救命救急センター	総括 救急医療
団員	二宮 宣文	日本医科大学 救命救急センター	救急医療
	須藤 明	国立病院医療センター	救急医療
	松村 謙一郎	産業医科大学	救急医療
	島田 淳子	JMTDR登録看護婦	救急看護
	古谷 静	岡山済生会総合病院	救急看護
	加藤 奈津子	JMTDR登録看護婦	救急看護
	小野 睦一	国際協力事業団 医療協力部 国際緊急援助室	業務調整
	奥村 順子	ジュニア専門員	業務調整
	村田 俊一	国際協力事業団 筑波インターナショナルセンター	業務調整

業務報告書

1991年4月27日

国際協力事業団
柳谷謙介総裁殿

派遣番号 2910045

専門家氏名 鶴飼 卓
所属先 大阪府立千里救命救急センター

任地国 イラン回教共和国
プロジェクト名 イラク避難民救済
指導科目 総括、救急医療

派遣期間 91年4月12日～4月25日

行動日程

12日	14:05	成田発フランクフルト経由
13日	21:30	テヘラン着
14日		大使館にて情報入手・意見交換、医薬品など調達 UNHCRを介し、内務省に通行許可申請
15日		通行許可証入手後テヘラン出発(15:00) 奥書記官およびDr. REZAI、記者三人同行
16日		2:00タブリーズ着、ホテル仮泊、9:00出発、13:00ウル ミエ着、西アゼルバイジャン州衛生部長らと会談後、 ピランシャルおよび国境視察、22:00ウルミエ帰着、 国営イランテレビのインタビュー(加藤看護婦)
17日		衛生部長らと協議の後、ナカデーのイマームホメイニ 病院に到着(15:30)、病院視察、宿舎交渉、緊急手術 2件(19:00より)、団長はその後ウルミエに
18日		チェンマゴル難民キャンプ視察、加藤看護婦は小児病 棟で、今野看護師と鶴飼は救急室で診療協力活動開始、 夜間緊急手術呼び出しに応ず
19日		朝NHKと共同通信の取材有り、診療協力
20日		診療協力、二次チーム宿舎準備
21日		診療協力、午後二次チーム到着、オリエンテーション 宿舎整備、業務引継ぎ、夜緊急手術(安田医師)
22日		8:00ナカデー発、18:00テヘラン着、大使公邸に報告
23日		記者会見、門田医務官(参事官)に報告
24日		4:00ホテル発、7:25テヘラン発、フランクフルト経由
25日		12:10成田着、横田技協課長・小野室長に報告

A 調査項目

1. 活動サイトについて
場所、気象、対象難民人口・流入状況、人種部族などのグループ
シェルター（テント等）、土着住民の生活環境、安全性
地形概略（地図・見取図）
2. 難民管理状況について
総括責任、実質責任者
他の活動機関（活動内容と担当者）
難民の自治組織、グループリーダー
現地人活動スタッフ（イランおよびイラク人、内容と担当）
3. 衛生状態について
住環境（シェルター、テント、毛布など）
食糧供給状況、分配、飲料水（水質・量）
汚物処理（トイレ）、ゴミ処理状況
Vector（ハエ、蚊、ブヨ、蚤、シラミ、ダニなど）
死体処理、墓（場所および埋葬方法）
死亡者（人口比、一日当り）、患者数、疾病罹患状況
目下の医療供給状況、他の外国医療チーム
4. JMTDRの拠点設営および活動について
宿舎（部屋数、スペース、食事、水、トイレ、安全性）
医療の拠点（町・村での病院／野戦病院／ヘルスポスト？、その両方？）
輸送手段（テヘラン←→現地、宿舎←→医療拠点）
通信（電話、電報etcが可能か）
運転手、通訳、賄い、ヘルスワーカーの雇い上げ、ボランティア
医療拠点の衛生状況と安全性

B 活動計画

1. 大使館
大使表敬、情報入手、意見交換、便宜供与の依頼
ORS・輸液剤、生活用物資など補充分の入手
2. イラン側関係機関
外務省、内務省（難民対策本部）、保健省、軍、革命機関
赤新月社、地元関係者（知事、軍指令官、衛生担当者など）
3. 国際機関
UNHCR、UNDRO／UNDP
RCS／ICRC、NGOs
4. 東京との連絡
5. 二次チーム受け入れ準備
輸送、表敬などの簡略化、宿舎、現地購入物資手配
6. 報道機関関係者への対応／記者会見

II 一次チームの実施活動要約

1. 大使館との意見交換、情報入手

難民問題担当：奥一等書記官、中山書記官
協力：門田医務官

2. 現地難民状況視察

西アゼルバイジャン州ピランシャール、ナカデー、オシュナピエ、
イラン・イラク国境、難民キャンプ（チェシマゴル、ジベール？）

3. 活動拠点候補の策定

- 1) ピランシャールにクリニックを開設
- 2) ジベール難民キャンプのクリニック
- 3) イマームホメイニ病院
- 4) 新設野戦病院

Dr. RezaiとDr. Mehri（州衛生部長）と相談の上、3)4)を選択した

なお、ナカデー病院（イマームホメイニ病院）、オシュナピエ野戦病院建設地および病院用資機材倉庫の視察も行なった

4. 医療活動と罹患状況の調査

ナカデー病院にて4月17日夜より同21日夜まで、加藤看護婦は小児病棟での看護に、今野看護師と鶴飼は外科救急室および手術室、外科病棟で外科的処置、手術の執刀および介助、術後患者の管理に当たった。5日間の延べ診療患者数は、小児病棟が約200名、外科救急室が約150名

小児は肺炎、下痢、脱水でショック状態にあるもの少なからず、一日数名が死亡した。外科系患者は腹膜炎（穿孔性虫垂炎）、イレウス、腹部外傷、四肢外傷（地雷外傷、銃傷、交通外傷、一般外傷など）、脱肛、痔、膿瘍、熱傷、骨髄炎、壊疽性炎症など、内科系患者の診療には殆ど参加しなかったが、肺炎、消化管炎症（下痢、腹痛、血便）が多く、アメーバー赤痢の罹患者が多い、また門田医務官によると結核、寄生虫疾患（回虫、蟯虫、十二指腸虫）、百日咳が多いとのことであった。

5. 二次チームの宿舍の確保

イマームホメイニ病院モハマンディ事務局長の尽力により、病院近くのナカデー郵便局二階を確保できた。市内のホテルは環境不良で日本チームの使用にはとても耐えられない。

6. 二次チーム以後の診療協力者の発見

複数のイラク人（クルド人）で英語を理解する医療関係者を発見した。

7. 二次チームへの業務引継ぎ

8. 大使・公使への活動および現地事情の報告

9. 報道陣への取材協力（朝日、読売、日経、NHK、共同、イランテレビ）

Ⅲ 今後の課題

1. 野戦病院の設営と運営について
相当大きな規模の資機材があるようであったが、その内容が不詳であったので
 - a. たとえば、レントゲン装置があるか、有るとすれば放射線防護の問題は解決可能か、
 - b. 臨床検査機器はどの程度あるのか、検査室を作る必要があるか、
 - c. 手術器具は？ 手術までするのか？
 - d. 外来診療をするのか？ するとすれば診察室、処置室、薬局は？
 - e. 患者の食事をどうするか
 - f. イラク人医療従事者の協力がどこまで得られるか
 - g. イラン人の診療をどうするか
2. ナカデー病院での診療協力について
どの程度の規模で実施するか、小児病棟、外科
(宿舎の便宜供与との関係あり)
3. 本当に必要な物資・医薬品は何か
4. 他の組織との協力について
外国チーム、日本のNGO
4. 今後の医療チーム派遣の期間、チーム構成
交代のタイミング(宿舎のcapacityを考慮)
5. 撤退時期、仕方

イラン流入クルド難民

(第一次) 緊急援助隊活動報告書

平成3年4月

鉱工業計画調査部

鉱工業計画課

鈴木秀幸

調査団の構成

氏名	調査担当事項	所属
①鈴木重之	団長・総括	外務省経済協力局技術協力課 企画官
②鶴飼卓	副団長・救急医療	大阪府立千里救命救急センター副所長
③加藤奈津子	救急看護	J M T D R 登録看護婦
④今野孝雄	救急看護	白井聖仁会病院 看護師
⑤飯塚裕一	業務調整	外務省中近東アフリカ局中近東第二課
⑥鈴木秀幸	業務調整	国際協力事業団鉦工業計画調査部 鉦工業計画課

調査期間

平成3年4月12日～同年4月25日（14日間）

曜日	行程		活動内容
4月12日(金)	成田集合	10:30	結団式、活動内容打合せ等
	成田発 (LH711)	14:05	
	フランクフルト着	19:00	荷物引き取り、携行機材はテヘランに直送
13日(土)	フランクフルト発 (IR721)	15:00	
	テヘラン着	21:30	入国手続き、機材引き取り 日本大使館出迎え(河村公使、奥書記官、 藤井書記官、中山書記官)
	宿舎チェックイン	24:00	ラーレホテル
14日(日)	ホテル発	9:00	
	日本大使館着	9:30	ブリーフィング ・門田医務官(保健医療、医薬品事情等) ・奥書記官(難民状況等)
	テヘラン市内	13:00~15:00	資機材購入
	門田医務官私邸	19:30	門田参事官主催夕食会
15日(月)	日本大使館着	9:30	資機材購入費大使館立て替え分精算
	日本大使館発	14:50	大使館公用車 借り上げ車(ジープ、バス、小型トラック) 奥書記官、朝日、日経、読売記者同行
	タブリーズ着	2:50	テヘランより630KM、テヘラン~カズビン~ ザンジャン~タブリーズ)
16日(火)	タブリーズ発	9:00	
	ウルミエ着	12:30	
	西アゼルバイジャン州 厚生省公衆衛生局	12:50	難民受入実施機関責任者との打ち合わせ 今後の活動計画(視察地、医療活動先)
	ウルミエ発	15:00	
	ピナンシャハール国境視察 (ナカデ経由)		流入する難民状況視察
	ウルミエ着	22:00	ダリヤホテル泊 ウルミエ~ナカデ 130KM ナカデ~ピナンシャハール 60KM ピナンシャハール~国境 12.5KM

17日(水) 西アゼルバイジャン州	局長との会談(メヘデ)
厚生省公衆衛生局	9:00 ~ 目的、団員紹介、活動計画、協力要請
	11:00
ウルミエ発	14:10
イマムホメイニ病院着	15:30 病院内視察、医療活動打ち合わせ、宿泊施設確保
ウルミエ着	22:00 医療チームと調査チームに分離
	医療チームはナカデ泊(宿泊施設は病院側提供)
	調査チームはウルミエ泊(グリヤホテル)
	・医療チーム(鶴飼、加藤、今野、飯塚)
	・調査チーム(鈴木(重)、鈴木(秀))
18日(木) ウルミエ発	8:30 借上車(運転手付)、調査チーム、大使館ローカル
ナカデ着	10:05 スタッフ(通訳)
ナカデ難民キャンプ視察	11:30
(ゴルチェシメ)	
19日(金) ウルミエ発	10:50
オシナビエ着	12:00 オシナビエキャンプ(シュワドウエマッケ)視察
オシナビエ発	13:15
ナカデ着	14:15 医療チームと打合せ、活動状況取材、市内視察
ナカデ発	21:00
ウルミエ着	22:30
20日(土) ウルミエ発	9:45
ジュヴェ着	10:30 ジュヴェキャンプ(市内)視察
ウルミエ着	12:25
ウルミエ発	13:35
ナカデ着	14:50 医療チームと打合せ、活動状況取材
ナカデ発	19:00
ウルミエ着	20:30
21日(日) 二次隊ウルミエ到着	10:00 第一回打ち合わせ
ウルミエ発	13:20
ナカデイマムホメイニ病院着	14:45 二次隊到着報告、施設案内
市内宿泊施設への荷物搬入	郵便局2階(旧郵便局長宿舍)
	第二回打ち合わせ
ナカデ発	21:10
ウルミエ着	22:40 出発準備、清算

22日(月) ウルミエ発	6:45	
ナカデ着	8:00	第三回打ち合わせ、病院事務局長へ挨拶
発	8:30	フヤデ、ミヤネ経由(湖南ルート)
テヘラン着	18:10	ホテルチェックイン(エステグラルホテル)
大使公邸着	20:00	大使主催夕食会、活動報告
23日(火) ホテル発	8:00	
技協関係省訪問		三宅書記官、鈴木(重)、鈴木(秀)
環境庁	9:00	
計画省	10:30	
大使館	12:10	大使館立替分清算、旅費精算
ホテル戻	15:30	
反省会	17:30	
24日(水) ホテル発	4:30	奥書記官
空港チェックイン	5:30	
テヘラン発 IR721	8:00	
フランクフルト着	11:25	
フランクフルト発 LH710	17:20	
25日(木) 成田着	11:40	解団式

主要面談者

(イラン側)

- | | |
|-----------------------|---|
| ① Dr. Salari | 厚生省ウルミエ地区局長 |
| ② Dr. アラジン メイデ | 西アゼルバイジャン州厚生省公衆衛生局長
UNHCR担当 |
| ③ Dr. P. Dezai | UNHCRヘルスコンサルタント |
| ④ Mr. Masoog Mostofee | UNHCRソーシャルサービス補佐
(アスクウト プログラム オフィサー) |
| ⑤ Mr. ムサンビア | ナカデイマムホメイニ病院事務局長 |

(日本側)

- | | |
|---------|-------------------|
| ⑥ 斉藤 邦彦 | 在イラン日本国特命全権大使 |
| ⑦ 河村 悦孝 | 在イラン日本国大使館参事官 |
| ⑧ 門田 昂 | 在イラン日本国大使館参事官兼医務官 |
| ⑨ 奥 克彦 | 在イラン日本国大使館一等書記官 |
| ⑩ 三宅 且仁 | 在イラン日本国大使館二等書記官 |
| ⑪ 藤井 康司 | 在イラン日本国大使館二等書記官 |
| ⑫ 中山 善弘 | 在イラン日本国大使館三等書記官 |

所感

1. 今回緊急援助活動に参加した団員は、緊急援助活動を熟知しており、各自が自己の役割を的確に把握できていたため行動に無駄がなく団員相互の軋轢も生じなかった。また在イラン日本大使館は、イラン地震で緊急援助隊を受け入れた経験もありその経験を生かして、機敏な対応をしてくれた。奥、中山書記官が現地まで同行してくれたほか、同大使館に勤務するローカルスタッフ2名を緊急援助隊に張りつけてくれたため、ペルシャ語通訳、イラン側との連絡調整、車の運転等に非常な手助けとなった。

2. ペルシャ語に堪能でイラン事情に通じた団員を、調整員として確保できたことがイラン側との意思の疎通を図る上で強力な力となった。

3. イラン政府との交渉は、すべて日本大使館担当者が実施してくれたが、イラン中央政府の対応は必ずしも熱意を持ったものではなく、サイトを西アゼルバイジャン州と決定するまでにかなり難航した。結果的には、イラン側とはなく、UNHCRとの話し合いによってサイトを決め、UNHCRのオフィサーに現地まで同行してもらうことで活動の一步を踏み出せることができた。日本大使館担当者の話では、クルド難民に対する外国援助に関し、イラン内務省と厚生省の間に確執があり、内務省は、外国援助が厚生省に流れるのを嫌い、受け入れに消極姿勢を持っていたことがサイトを決定するのに難渋した一因となったとのことであった。

4. 我が国は、緊急援助物資34.5ト、約47万ドル分を、イラン政府に供与しているものの、港引き渡しであるため、緊急援助隊のような人的援助と連動せず、また実際に難民を受け入れている州政府にそれらが届くか不確定で、供与物資に対する州政府からの感謝の表明は見られなかった。州政府保健局長は「象徴的なものではなく 実質的な支援をしてほしい」と日本の援助に注文をつけるのを忘れなかった。同時に援助物資のテヘラン税関でのトラブルを避ける為ウルミエへの直接空輸を要請した。

5. 西アゼルバイジャン州入りした外国医療チームは、バイレベルでは私人医師団（国境なき医師団）に次いで日本隊が早く、迅速さにあわせ、入国後テヘランから陸路駆けつけた緊急援助隊員の気概はイラン国関係者から高く評価された。

6. 第一次隊は当初、事前調査隊または先遣隊と位置付けられていたようであるが、次第に医療行為の比重が重く打ち出され、最終的には医療チームと位置づけが変更されてしまった。しかし事前調査隊として携行機材の量や質を決定したので、携行機材は現地で一週間フルに医療行為をするには不十分であったと思われる。団員の中から医薬品等は常にフルキットを携行するべきではないかとの反省も出された。

7. イラン経済は順調な立ち直りを見せており、市場には食料、生活物資も豊富に出回っていた。従って今次緊急援助物資の現地調達も比較的容易であり、市場に不足していると心配されたリングル、抗生物質等の医薬品も門田医務官のご協力で短時間に調達することができた。

8. 赤新月社の救援活動は迅速で、各キャンプのテントの設営状態も見事でまた運営も適切であると思われた。キャンプには医師及び看護婦が派遣され難民の医療行為にあたり、看護婦の多くがボランティアとして志願して参加した人たちであった。

9. 緊急援助活動は、現地の被害状況に応じ、臨機応変な判断の下になされるとはいうものの難民や被災民に対する救援活動にはある程度の共通基本型と言ったものがあり、平時いくつかの基本型を検討しそれぞれの案についてマニュアルを作成しておくことも援助活動の質を高める上で有意義であろう。例えば今回の出動では、鶴飼医師がフランクフルトのホテルで行動計画の原案を作成して、それに基づき第一回団内会議を開いたが、活動計画の基本案はやはりJICA側で作成しておくべきではなかったかと思われる。

10. その他

①緊急援助活動を迅速に現地で開始するためには政府関係オフィサー等に対するインフォーマルな親交が重要であり、イランではそうした親交がしばしば贈り物という形で表現されるとのことであった。援助隊派遣にあたってはそうした表現手段の確保についても十分に配慮しておく必要があるだろう。

②医療チームから以下のような要望がなされた。

③カルテは2枚複写書きできるものを用意してほしい。

(1枚は病院保存用、2枚目は持ち帰り用)

④医療器具キットの中に白衣、三角巾も含めておいてほしい。

クルド難民キャンプ（シュワドゥエマツケ）

- ①地理 ウルミエから約50Km
- ②交通 車 ウルミエ～オシュナビエ(68.3Km)～サイト(8Km)～ナカデ
(70分)
- ③人口 キャンプ5,000人(オシュナビエ15,000人→30,000人現在)
- ④難民の特徴 クルド人
- ⑤運用形態
- イ. 治安 軍隊
 - ロ. 食糧 赤新月社、イマムホメイニファンド
 - ハ. 医薬品 赤新月社、イマムホメイニファンド
 - ニ. 医師 保健省 ドクター 2名
 - ホ. 看護師 13名 (イラク難民～医療補助)
 - ヘ. トイレ 約100ヶ所(屋外)
- ⑥水源 湧水を導水、各所のタンクで配給
- ⑦通訳 クルド難民に英語達者な者 1名
- ⑧救助国 なし(但しオシュナビエでノルウエーの野戦病院建築中)
- ⑨テント 赤新月社 1,000 テント
- ⑩開始日 4月14日 難民入居
- ⑪難民の状態 栄養失調、
下痢、嘔吐、特に子供の病人多
キャンプ入居前にワクチン
粉ミルク、医薬品不足
- ⑫医療行為 1日約25～35名の患者
薬物投与、内科的処置
看護学生 10日毎入れ替わり(ボランティア)
夜間病人 ナカデ病院
救急車 2台
- ⑬キャンプの収容能力 能力 25,000人
現状 5,000人

クルド難民キャンプ (ジベ)

- ①地理 ウルミエから南南西38 Km
- ②交通 ウルミエから車で44 Km 45分
- ③人口 70,000人
- ④難民の特徴 クルド人
- ⑤運用形態
- イ. 治安 軍
 - ロ. 食糧 缶フード、知事配給
 - ハ. 医薬品 缶フード、知事配給
 - ニ. 医師 3名
 - ホ. 看護師 5~6名
 - ヘ. トイレ 1,000 トイレ
- ⑥水源 深井戸 パイプで配水
- ⑦通訳
- ⑧救助国 国際機関の援助なし
- ⑨テント 赤新月社 2,500 テント
- ⑩開始日 16年前5,000人クルド難民定住 5年前20,000人
現在 50,000人(4/10)
- ⑪難民の状態 下痢、風邪、皮膚病、栄養失調
テント生活者の他に建物に入居した難民多数
建物への収容からスタート、溢れた難民をテントへ
テント、食糧、医薬品の不足
イラクからジベまで10日間歩いて到着した者もある。
- ⑫医療行為 クリニックセンター方式で処方、医薬品の供与(2~3年前)
重症者はウルミエへ移送
600~700人の患者/1日
ワクシネーション
BCG、テタナス、S. POX、ポリオ

クルド難民キャンプ（ゴールチェシメ）

- ①地理 ナカデより西へ18 Km
- ②交通 舗装道路 ナカデ～サイト、車で15分
- ③人口 15,000人
- ④難民の特徴 クルド人
- ⑤運用形態
- イ. 治安 軍が入口に駐在
 - ロ. 食糧 赤新月社の配給
 - ハ. 医薬品 保健省
 - ニ. 医師 2名 クルド人の医師
 - ホ. 看護師 クルド人の学生、ボランティアのイラン人、2名常駐
 - ヘ. トイレ 屋外簡易トイレ、ただし一般的にはクルド人はトイレを使う習慣なし
 - ト. 病気 栄養不良、下痢、嘔吐、
- ⑥水源 丘の麓の湧水、タンクローリー
- ⑦通訳
- ⑧救助国 国際機関の援助なし
- ⑨デント 赤新月社
- ⑩開始日 4月14日 難民入居
- ⑪難民の状態 栄養不良、下痢、嘔吐、
キャンプ入居前にワクチン
- ⑫医療行為 薬物投与
看護学生 10日毎入れ替わり（ボランティア）
医師はナカデから通う
- ⑬キャンプの収容能力
- | | | | |
|----|---------|-----|-------|
| 現状 | 15,000人 | テント | 1,400 |
| 能力 | 30,000人 | テント | 2,900 |

業務報告書

1991年6月21日

国際協力事業団
柳谷謙介総裁殿

派遣番号 2910206

専門家氏名 鵜飼 卓
所属先 大阪府立千里救命救急センター

任地国 イラン回教共和国
プロジェクト名 イラク避難民救済（第五次）
指導科目 総括、救急医療
派遣期間 91年6月6日～19日

行動日程

6月	6日	15:25	イラン航空801便成田発
	7日	0:30	テヘラン着
		10:30	テヘラン発 ウルミエ着 オシュナピエ経由
		18:00	ナガデ宿舎到着、先発隊員とミーティング、撤収に向けての作業日程と診療の基本方針の意見交換
	8日		朝ナガデ郡副知事訪問、表敬および宿舎貸与の謝意を伝え、団員生活上のことについて相談、郵便局長訪問
			オシュナピエ野戦病院にて診療活動に参加、日赤派遣医療チームと交歓、夜ナガデ病院と新事務局長を訪問
	9日		ナガデ保健センタータギザデ所長訪問しチェシマゴル難民キャンプ視察の打ち合せ、のち野戦病院で診療
			夕、UNHCRウルミエ事務所のスタッフと会談
	10日		午前中診療ののち、ウルミエに、メヘリ衛生局長および副局長を訪問、活動状況の報告、撤収の方針と予定期日を伝達、のちUNHCR事務所訪問情報入手と意見交換し、オシュナピエ経由ナガデ帰着
	11日		一日中診療と残余医薬品などの整理
	12日		朝ナガデ病院院長訪問、撤収期日と宿舎の明け渡し、貸与生活資器材の返却、薬品などの供与について相談
			夜、宿舎にて日赤派遣医療班およびヘルパーを招いてさよならパーティ開催（参加者29名）
	13日		午前中診療、伊吹厚生政務次官一行来訪、診療状況を説明、午後は後片付けとテヘラン行荷物の積み込み
			夜第五次チームの活動総括ミーティング
	14日		宿舎清掃、荷物整理、ナガデ発ウルミエに、午後欧州共同体救援活動調整員と会談
	15日		活動報告書などをメヘリ衛生局長に手渡し、ウルミエ発テヘラン着、夜門田医務官宅に招待さる
	16日		イラン赤新月社サドレ国際局長訪問、夜大使公邸へ
	17日	3:40	オーストリア航空にてテヘラン発、ウィーン経由
	19日	7:35	成田帰着、鈴木企画官と寛室長代理に報告、新宿にて曾我医療協力部長に帰国報告

J M T D R 撤収作業計画

(6月7日ミーティング資料および実施結果)

1. 時期

- テヘラン発6月17日? → このとおり
- ウルミエ発6月15日? → このとおり
- 最終診療日6月13日? → 午前中にて診療終了、午後片付け

2. バトンタッチの有無

有り: どのチームへ? 資器材の供与は?

無し: 器材薬品の供与先の検討、患者の振り分け先は?

結果は適当なグループ無く、器材薬品はナガデ病院と西アゼルバイジャン州衛生当局、一部テヘランに持ち帰りイラン赤新月社へ供与することとした。ごく一部の生活器材をアルミケースとともに日本に持ち帰った。

3. 器材車両の引き上げ

- a テント(黄)と大型診療車は6月13日を待たずに引き上げ可能
運転手およびトラックの手配 → 実際は大使館からトラックを手配し、診療車は奥書記官自らが運転してテヘランに持ち帰った(13日出発)
- b 医薬品はできるかぎり現地に残してはどうか、日赤チームに贈与することも検討課題 → 実際にこの通りに行なわれた。
- c 生活資器材はテヘランに引き上げ、大使館倉庫に保管依頼? → 実行
- d 日本に持ち帰るものは? → 前述

4. 野戦病院の整理

UNHCR・イラン側との協議、物品管理の移転 → UNHCRの手を離れており、イラン側との協議により残余医薬品資器材は整理して英文表示を付け病院テント内に鍵をかけて残し、鍵と供与物品リストをメヘリ衛生局長に6月15日手渡した。

ボランティアの処遇 → 難民ボランティアの生活を考え、日給で若干の手当(キャッシュ)を渡すこととし、撤収と診療終了日を早めに告知した。

5. イラン当局への挨拶

現地は活動中に済ませる → メヘリ衛生局長、副局長、ナガデ郡長、ナガデ病院長および事務局長、郵便局長、オシュナビエ診療所長

テヘランは6月15日、16日? → 赤新月社のみ6月16日

6. さよならパーティ

6月13日/14日? → 12日に宿舎で行なうこととした

7. 大使館総括報告

6月16日 → 大使公邸晚餐会席上でおこなった

8. 伊吹厚生政務次官一行来訪

6月11日、12日? → 実際は13日正午前約30分間の視察

クルド難民救済JMTDR第五次チームの活動要約

1. 診療活動

第二、三、四次チームに引続き、オシュナビエ野戦病院で診療活動に従事した。6月1日以後の診療患者数は1,924名であった。地元の診療所や難民キャンプからの紹介患者もあり、当方からもオシュナビエ診療所、ウルミエやナガデの病院へ患者を紹介した。

2. 情報収集

- 1) UNHCRウルミエ事務所ワーカー（複数）と2回会談
- 2) ヨーロッパ共同体緊急援助調整官Nicholas Mellor氏と会談
- 3) ヘルパー達を通じてクルド難民の生活実態の把握
- 4) 日赤医療チームとの会談、相互訪問

3. 撤収準備

- 1) 医薬品・医療資器材の整理整頓
- 2) 同上の英文表記の添付
- 3) 同上の供与先別の選別
- 4) 患者の選別と患者数の制限
- 5) イラン側関係者への通告と打ち合せ
- 6) JMTDR診療活動統計資料の整理
- 7) 活動報告書準備

4. 撤収作業

- 1) 治療継続中患者の紹介
- 2) 大使館との連絡（トラック手配、撤収挨拶日程など）
- 3) イラン側関係者への挨拶 — 西アゼルバイジャン州衛生局長、ナガデ郡知事、ナガデ病院長、事務長、郵便局長、オシュナビエ診療所長、事務長、赤新月社国際部長
- 4) イラン側への供与物資の引渡し
- 5) UNHCR野戦病院での貸与中医療資器材の返還
- 6) 野戦病院の清掃
- 7) 野戦病院管理の移転（6月14日メヘリ衛生局長に鍵を渡す）
- 8) JMTDR活動報告書の提出（6月14日、メヘリ衛生局長へ）
- 9) 宿舍の清掃、一部塗装と水漏れの修理
- 10) 宿舍での貸与中生活資器材の返還
- 11) 大使への活動および難民状況報告

5. 友好交歓

- 1) 日赤チームとの交歓
- 2) ヘルパー達との交歓
- 3) 地元ペルシャ人との交歓

6. 厚生政務次官一行の来訪受け入れ

クルド難民救援医療活動に関する総括

1. 難民の状況変化について

a 人々の移動：今回のクルド系イラク人難民の特徴は、きわめて短期間に多数の人々が難民化した。イラク国内の情勢変化により、予想外に早く居住地に向けて帰還した人々も少なくなかったことが大きな特徴である。この事実は、イラン政府やUNHCRなどの発表した難民の統計にもあらわれている（表1）。

鈴木企画官を団長とする第一次チームが西アゼルバイジャン州に到着した4月中旬は、難民がピランシャルやナガデの町にあふれており、道路端にはビニールテントを張って生活をするものも多く、イラクのナンバープレートを付けたバスやトラック、タクシーなどが列をなしてイラン国内の町を走っていたが、2ヶ月後の6月中旬には道路端の仮設ビニールテントは全く姿を消しており、イラクナンバーの車を見つけることも困難であった。

b 難民の生活環境：4月中旬は気候も不穏で、夜間の冷え込みはきびしく、しかもテント、毛布や衣類、食糧の供給も急速な難民流入に追いつかず、人々は道路端やモスクの中、あるいは空き家、ガレージなどに仮の家を求めていたので、きわめてきびしい生活環境を強いられていた。5月中旬頃より自主的帰国が進み、また、難民キャンプの整備にともなって道路端で生活していた人々はキャンプに収容されていった模様である。また、数年前にイラン国内に入っていた親類縁者の所に身を寄せた者もいる。

c 難民キャンプ：6月6日現在西アゼルバイジャン州には17のクルド族難民キャンプが設営されている（図1）。イラン政府当局の指令により難民キャンプへの立ち入りはきびしく制限されており、第五次チームの派遣期間中に小生自らは難民キャンプに入ることはできなかつた。難民問題の調整機関に指定されているUNHCRの職員でさえ自由にキャンプに出入りする事は許されていない。したがって、その環境をこの目で観察することができなかつたが、UNHCRやICRC、ECなどの関係者からの情報によると、テント、毛布、食糧の供給もキャンプによって相当な差があり、公平な援助物資の分配ができているとはいえないようである。また、当初より予測されていたことであるが、汚物処理がうまくいかず、キャンプの環境衛生は良好ではなく、チフスの感染も有ると考えてよい。しかし、キャンプ内の人口は減少傾向にあつて、長期化すればトイレの改良なども行なわれて環境改善の可能性も高い。

d 人々の健康状況：cに記した理由により全体的な難民の健康状況の把握は困難であった。しかし、4月のナガデ病院の混雑は全く見られず、これが同じ病院かと思うほど全般に落ちついた雰囲気になつてきている。これが本来のこの病院の姿であつたと思われる。オシュナピエ野戦病院を訪れる患者も数の減少もさることながら、（これはむしろ診療側の診療姿勢によって大きく左右される）、その質的变化は劇的で、開設当初約80%を占めていたクルド系イラク人の数が顕著に減少し、かわつて地元のイラン人が患者の80%を占めるに至つた（英文レポートAnnex、図2参照）。4月中旬の1日当り数名の死亡者（殆ど乳児）が出るという様相とはことなり、オシュナピエ野戦病院での死亡者は交通外傷による1名のみで、点滴静注を要する重症者も一日10人以下に低下した。

e 諸外国の援助団体の動向：西アゼルバイジャン州に最初に入ったのは国境なき医師団（MSF）と世界の医師団（MDM）であり、JMTDRは第二番目で、ナガデ郡では最初に医療活動を始めたチームであつた。5月末MDMが引き上げたのにつづき、MSFも6月10日に活動を終了し、ICRCも6月末で撤収を予定している。オーストリアから大華医療チームを含む援助チームが来てい

るが、このグループは6ヶ月契約という話もある一方、今月末をめどに引き上げるといふ話もある。4月に主としてテヘランから動員されていたイラン人の医師や看護婦(士)は続々テヘランなどに戻っている。一方、バフタラン州にはなおドイツ、イタリアをはじめとして多数の援助団体が入っているということであるが、その詳細は不明である。

2. JMTDRの派遣と撤収について

a 派遣のタイミング：これは適切であったといえる。国際的な緊急援助の要請のあった翌日に派遣を決定し、できるだけ早く身軽に出かけ、二次チーム以後の人選も併せて行なったことは効果的な活動につながった。

b 派遣期間：当初の予定では一次チームは二週間、二次チーム以後は一ヶ月交代という予定であったが、実際には一ヶ月の職場離脱をできない人があって、三週間交代となった。往復に要する時間の問題を考えると、二週間で帰国しようとするれば現地での活動が一週間そこそこになり、三週間でも実質活動二週間となってしまうと、いささか短すぎる感を禁じ得ない。今後も同様の問題があるとするれば、今回一部で行なわれたように、全員同時交代でなく部分的交代によって、JMTDRとしての活動の連続性を保つ必要がある。

c 撤退時期：患者の動向や他国からの緊急救援団体の撤収時期を考慮すると撤収は早すぎることはなかった。もう少し早く撤収していても、難民の緊急援助の終了という意味では正当化されていたであろう。しかし、日本の医療人が一人でも多くこのような国際協力の現場を経験することができたのは、今後のJMTDRひいては日本国にとって無駄な投資であったとは思われない。

3. JMTDR活動の方針について

a 活動拠点の選択：第一次チーム報告書に記したように、西アゼルバイジャン州メヘリ衛生局長およびUNHCRレザイ保健コンサルタントと複数回の会談の後、第一次チームの唯一人の医師として、混乱のさなかにあるピランシャルにクリニックを開設するという案や、ウルミエ近郊のジーベキャンプあるいはチェシマゴルキャンプでのクリニックよりも、ナガデイマームホメイニ病院内と今後設営されるというオシュナビエの野戦病院での医療協力の要請を受諾した。この判断の最大の根拠は、安全性と秩序の確保、言葉のハンディキャップの大きいところでの外来診療の困難性を考え、また、マンパワーを考慮して一步退いた病院での入院患者あるいは重症患者のケアに日本人の能力をよりよく発揮できると考えたからであった。第一次チーム団長の鈴木企画官はむしろクリニックでの活動を考えておられたようであるが、小生の意見を聞き入れて下さった経緯がある。

ナガデの病院はほんの一次的な協力であって、野戦病院が完成した暁には全勢力が野戦病院に注がれると判断した。オシュナビエで建設が始まった野戦病院も規模といい、設備といい、まさに病院であって、外来だけのクリニックにするにはもったいない代物だった。ところが実際にはオシュナビエ野戦病院は種々の理由から入院患者を受け入れることが出来ないこととなり、外来診療に終始することとなった。もし外来診療だけを行なうのであれば、ピランシャルでもチェシマゴルでもジーベキャンプでもかわるところはなかったであろうし、病院開設のための努力も少なく済んだであろう。仕事の充実感もその方があったかもしれないし、効率的であった可能性が高い。ことに野戦病院開設に大変なエネルギーを注がれた二次チーム、三次チームの皆さんに小生の見通しのまずさを心からお詫びするものである。

b 入院患者受け入れの隘路：詳細は二次、三次の方々にゆずらねばならない

が、①外来患者を断わることが出来なかったこと、②イラク人医師による外来診療が制限されたこと、③ナガデ病院にマンパワーをとられ、当直体制を組むことが出来なかったこと、④掃除人や賄い人、夜間の介護者が得られなかったことなどがあげられる。②③は西アゼルバイジャン州政府（イラン）側の官僚主義的な壁によるところが大きく、これは我々外国人チームの限界を越えた問題である。

c 診療協力のレベルについて：種々な政治的な理由によって緊急医療協力という範囲を越えた診療行為が行なわれたことは率直に認めざるを得ないし、これは許容範囲内であったともいえる。また、よくしてほしいと訴える患者を前にして技術を持つものがそれを行使しないというのも医療従事者として倫理的に問題であるともいえよう。しかし、やはり現地の医療事情を十分考慮し、その秩序を乱さないというのも、我々外国からの飛び込み医療班の基本的な姿勢であるべきで、ことに不潔な環境での関節穿刺や関節周辺の手術には万一の合併症を考えて十分に慎重である必要がある。研修会などでこの方針は伝達されているはずであるが、再確認すべき事柄として挙げておきたい。

d 野戦病院の資器材について：ノルウェイから提供されたオシュナピエ野戦病院はきわめて豊富な資器材を揃えていたが、日本から携行した発電機と接続できないことがあった。また、入院を前提とする病院にはふさわしかったが、外来だけのクリニックには重装備過ぎて、また、どの箱に何が入っているのかが分かりにくかった模様である。

e 携行資器材について：① 大型診療車はキャンプで診療するのであればきわめて有用であった筈であるが、野戦病院が設営されたので、その真価を発揮することが出来なかった。

② 診療用テントも①と同様である。いささか無駄な投資をしてしまったことを反省しなければならない。しかし、これは野戦病院での活動という基本方針決定の前、ピランシャルの草原やキャンプで医療活動をして欲しいといわれていたときに、二次チームの携行器材と併せてこれらのチャーター機での発送が決まったので、やむを得ない決定でなかったかと考える。

③ UNIPACKは梱包の外側にEmergency Health Unit Iとか、Basic Medical Set IIといった類の表示しかないで、その内容が何であるのか梱包を開けてみないと解らない。中には内容のリストが入っているが、その点で不便であり、今後の改善を申し入れるべきだと考える。あるいは、当方がその正確なリストを予め入手して、団員に携行させなければならない。必要なものはすべて備わっているへん優れたセットであることは間違いない。

④ いささか詳細になるが、輸液剤とORSはテヘランで入手可能なことが出発前明確であったはずであるが、なぜか大量の輸液剤が届けられた。

⑤ これも細かいことであるが、日本で発売されてまだ1年にもならない抗アレルギー薬を野戦病院の薬品棚で発見した。抗アレルギー薬であり、この持込みのもたらす問題は少ないとはいっても、cで述べた現地の医療レベルにあわせるというJMTDRの基本姿勢にそぐわない薬品であろう。個人の携行薬で余ったものを薬品棚におかれたものであれば特に問題とすべきことではない。

f 現地協力者との友好関係：ペルシャ人はとりわけプライドの高い人たちであるといわれている。クルド族との関係は長い歴史的な経緯のために決して良好とはいえないようで、政府の表向きの姿勢とは裏腹に現地に住む人々には警戒感が強いらしい。クルド系イラン人もペルシャ人と差別されており、特別な感情を抱いている。このような背景を理解するには多少の時間がかかり、例外も多数あるので慎重に対応しなければならないと思われる。イラン国内のこのような環境でイラン人とクルド族イラク人の診療を行なうときにはとくに配慮が必要であっ

たろう。診療の能率が悪化するということよりも、誇り高いペルシャ人の国で我々は働かせて頂いているのだという認識が重要だと思ふことがあった。

4. 事故

JMTDR活動期間中にJMTDRメンバーの病気や診療中の事故がなかったのは幸いであったが、第五次チームの使用していた乗用車が（車ごと雇い上げ運転手）が交通事故を起こし、7歳の少年が即死したのはきわめて遺憾であった。

事故が発生したのは6月9日（日）朝9時20分頃、ナガデーオシユナビエ間の出勤途上である。平素より速度を出しすぎるので再三注意して慎重運転するよう促していたが、見通しの良い直線道路で前方のトラクターの陰から飛び出してきた少年を避けきれず数mはねとばし、車も道路脇の斜面に転落したものであった。この車には日本人医師1名、看護婦1名、調整員1名が同乗したが、これらのスタッフに怪我はなかった。後続の乗用車に乗っていた医師らも加わって応急処置を施しながらオシユナビエ野戦病院に搬入し、蘇生の努力を行なったが、その甲斐なく少年は死亡した。診断は、脳挫傷、頭蓋底骨折、頸椎骨折、頸髄損傷、気管損傷による死亡である。死亡を告げた少年の父親は、「これは事故であって神の思召しである。日本の医師や看護婦さんが蘇生の努力をして下さったことを深く感謝する」と述べられた。事故は警察に届け、また、その顛末を日本大使館とJICA本部に連絡した。なお、運転手は即日解雇した。

4. 全体的評価

活動にかかわった者が自らそのプロジェクトの評価をするのはおかしなことであるが、あえて緊急援助としての評価をするならば、70点あるいは80点のできではなかったかと思われる。その根拠は、すばやく出動して現地入りした日から活動を開始できたこと。現地側の高い評価を得ることが出来たこと。撤収の時期をあやまたず、緊急事態の終息とともに撤収できたことを挙げる事が出来る。もちろん微細な点について、上述したようにいくつかの反省すべき事柄もあった。また、医薬品や資器材が多すぎたことも問題点の一つであるが、これだけ短期間にクルド難民の問題が改善されるという見通しを立てることは困難であった。

一番残念なのは活動の最後になって、我々の使用している車が人身事故を起こしたことである。常々運転手に注意を喚起していたことでもあり、残念でならないが、死亡宣告後の父親の言葉に慰められた。

このプロジェクトが、非常に官僚主義の厳格なイランイスラム共和国内でこのようにスムーズに実施できたのは、在テヘラン大使館の全面的な協力の賜である。ことに本件担当の奥書記官には、深夜早朝をわかたず我々のために種々お骨折り下さったので、心から感謝するものである。

追記

上述の如く、今般のクルド族難民に関して、緊急事態は予想外に早く終息に向かった。患者統計からも、受診する患者の容態からもJMTDRがオシユナビエから撤収するにふさわしい時期に撤収できたことは間違いない。しかし、決して難民が全員帰国したわけではない。まだ西アゼルバイジャン州だけでも15万人以上の難民がいる。そして諸外国からの援助団体が我々と同じように撤収していく一方、難民キャンプの衛生状態が改善されたとは思われず、医療援助が全く不

要になったとはいい難い。したがって、イラン国政府筋からもっと居残って欲しいという要望が出るのはごく当然である。しかし、今後どの程度の期間難民キャンプがあのような形で存続し続けるかは予測困難である。もし新たな人的援助の要請があり、日本政府がそれに応えたとすれば、相当長期に亘る専門家の派遣を考慮しなければならないだろう。

Map of Camps



西アゼルバイジャン州内クルド族難民数

4月8日 4月末? 5月17日 5月24日 5月31日 6月6日

	4月8日	4月末?	5月17日	5月24日	5月31日	6月6日
ザレアン			30,000	13,000	4,000	5,000
タゼカンド			450	450	450	400
ナサルドカナ				7,000	7,000	16,000
ジーベ				30,000	30,000	15,000
オシュナピエ			12,000	14,000	14,000	25,000
チェシマゴル		15,000		7,000	7,000	8,000
アンサール			18,000		15,000	6,700
ガードル					12,000	10,000
ハズラテラソル					600	800
ディルゼ				7,000	18,300	4,900
バピナバド					2,600	2,800
ラビン					3,500	4,100
シャヒドカザミ			15,000	23,000	23,000	15,470
ピシャスブ				8,000	6,350	6,350
バジレー				5,000	2,800	9,126
ジェハドセムナン				8,000	5,200	6,500
ミルガセ				3,200	3,200	3,592
キャンプ外						24,300
合 計	243,200	550,000	231,450	171,650	155,000	164,038

Report on the Activities of
Japan Medical Team for Disaster Relief (JMTDR)
for Kurdish Refugees in West Azerbaijan.

June 15 , 1991

Takashi Ukai M.D.

Leader of 5th JMTDR Team .

To: Dr. Alaeddin Mehri
Director , Department of public Health
West Azerbaijan , Islamic Republic of Iran .

In response to the request for the urgent international assistance of the relief operations for Kurdish refugees in Iran which was conducted to the Embassy of Japan in Tehran on April 8th, JMTDR decided to dispatch medical teams to Iran on April 9th .

Arriving at Tehran on 13th, the first team came to Orumiyeh on 16th. According to the suggestion of Dr. Mehri, Director of Public Health Department, West Azerbaijan, and Dr. Rezai, Health consultant of UNHCR , the first team was allowed to see the Iraq-Iran border near Piranshar and the situation of the refugees in Piranshar, Naghadeh and the other places in West Azerbaijan, and was also allowed to start to work at Nagadeh Hospital and at Oshnaviyeh Field Hospital. This was the first medical team arrived at Naghadeh Province from foreign countries. The number of patients at Naghadeh Hospital was about ten times of normal situations .

By courtesy of the authorities concerned, Japan Medical Team for Disaster Relief was allowed to work in these two medical institutions safely and effectively and had privilege to be accommodated in the second floor of Naghadeh post Office comfortably .

It is roughly estimated that about 9,000 patients in total were attended by JMTDR in these two months . Kurdish refugees from Iraq were the major ethnic group among these patients in April and in the beginning of May . However, the ratio of Kurds from Iraq to Iranian local residents decreased rapidly since the end of May as it is shown in the attached patient statistics. In addition, severity of the patients visiting Oshnaviyeh Field Hospital changed quite rapidly, and more than 80% of them in June were mild and with chronic diseases such as -- arthritis and lumbal pain of muscular origin. In view of these rapid changes of health problems of Kurdish refugees, we decided to close Oshnaviyeh Field Hospital

and withdraw from West Azerbaijan .

On the annexed papers, are the numbers and the duration of stay of JMTDER personnel, statistics of the patients visited Oshnaviyeh Field Hospital and the list of the donating medical equipment and drugs .

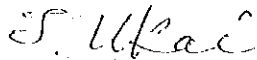
We deeply thank you for your kindness and generosity to support us throughout our stay in West Azerbaijan .

Thank You

June 15 , 1991

Takashi Ukai , M.D.

Signature



Team Leader of JMTDR

Annex 1

1) Number of personnel dispatched

Team	Term	Total No.	Drs.	Nrs.	Coordinators
1 st	April 16 = 22	6	1	2	3
2 nd	April 21 = May 4	12	3	6	3
3 rd	May 3 = 18	12	3	6	3
4 th	May 17 = June 1	11	3	6	2
5 th	May 31 = June 14	10	4	3	3

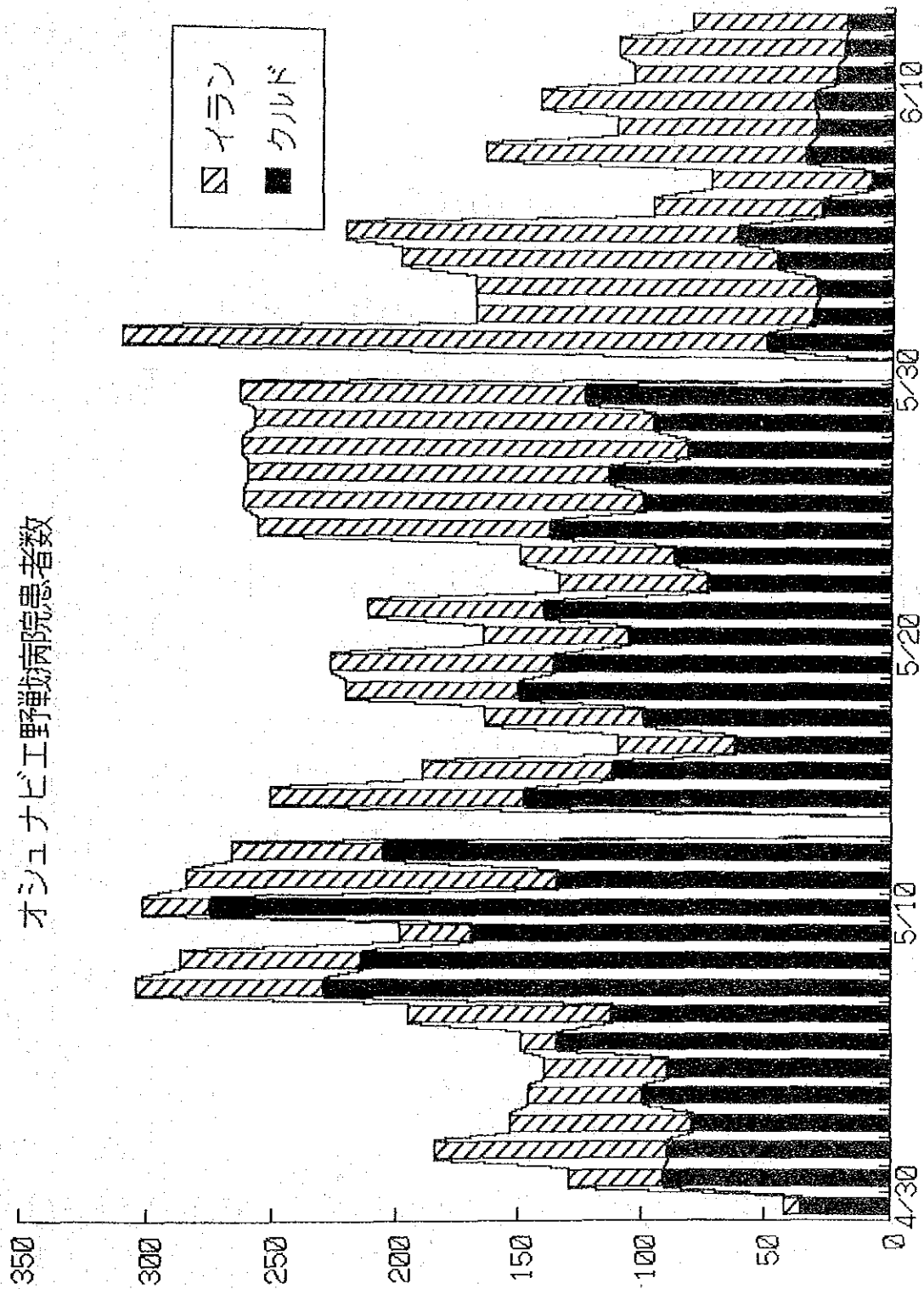
2) Number of patients at Oshnaviyeh Field Hospital

Date	Total	Local residents	Iragi Kurdish	Iragi /Total (%)
April 30	43	7	36	83.7
May 1	130	39	91	70.0
2	185	95	90	48.6
3	154	75	79	51.3
4	147	47	100	68.0
5	140	50	90	64.3
6	150	15	135	90.0
7	196	83	113	57.7
8	305	75	230	75.4
9	288	73	215	74.7
10	200	30	170	85
11	302	28	275	90.7
12	285	150	135	47.4
13	267	61	206	77.2
14	?	?	?	
15	25	104	148	58.7
16	190	77	113	59.5

Annex 2

17	111	48	63	56.8
18	165	65	100	60.6
19	222	71	151	68.0
20	228	92	136	59.6
21	166	60	106	63.9
22	213	73	140	65.7
23	135	61	74	54.8
24	151	64	87	57.6
25	258	120	138	53.5
26	263	163	100	38.0
27	262	148	114	43.5
28	264	182	82	45.1
29	259	163	96	37.1
30	265	141	124	46.8
31	?	?	?	
June 1	276	226	50	18.1
2	169	137	32	18.9
3	169	139	30	17.8
4	200	154	46	23.0
5	223	161	62	27.8
6	97	68	29	29.9
7	73	64	9	12.3
8	165	130	35	21.2
9	112	81	31	27.7
10	143	111	32	22.4
11	105	82	23	21.5
12	111	91	20	18.0
13	81	62	19	23.5
Total	8,120	3,966	4,154	51.1

オシユナビ工野弾城病院患者数



国際緊急援助隊（イラン流入イラク避難民救済医療チーム）携行機材リスト

Case.No	資機材名	梱包大きさ mm	重量kg	梱包数	総重量kg
1	医薬品	450 × 450 × 500	48.0	1	48.0
2	医療資材	600 × 540 × 610	23.0	1	23.0
3	缶詰、割箸、スプーン、フォーク、みそ汁、梅干し等	430 × 370 × 340	10.0	1	10.0
4	乾電池、ホカロン	430 × 370 × 340	17.0	1	17.0
5	レトルト食品、ライス	430 × 370 × 340	20.0	1	20.0
6	ライス、クラッカー	430 × 370 × 340	22.0	1	22.0
7	コッヘル、ボール、カップ、ラーメン	430 × 370 × 340	6.0	1	6.0
8	ダウンジャケット6、靴4	620 × 180 × 500	13.0	1	13.0
9	毛布 10枚 9A 5枚 9B 5枚	シムラミン9.2 シムラミン9.2	12.2	2	12.2
10	懐中電灯 7ヶ	720 × 540 × 300	10.5	1	10.5
合計		梱包数 10	総重量 182.7KG		

イラン流入イラク避難民救済緊急援助隊 携行医薬品リスト

	薬品名	数	量
医薬品・経口	抗生物質 ピクシリン錠 250mg、500錠		2
	クロロマイセチン 250mg、100錠		10
	アクロマイシンV 250mg、100錠		10
	バクタ錠 100錠		10
	解熱剤 アスピリン錠 500mg、30錠		34
	バファリン錠 (大人用) 600錠		2
	アンヒバ坐薬 100mg、100個入り		2
抗潰瘍薬 アルサルミン 1,200包		1	
鎮痛薬 ブスコパン錠 100錠		2	
気管支拡張薬 ネオフィリン 100mg、100錠		2	
抗不安薬 セルシン 100錠		2	
抗寄生虫薬 コンバントリン 100mg、100錠		2	
注射薬	局所麻酔薬 1% キシロカイン 20ml		20
	抗不安薬 セルシン 10mg、10ampule		2
	抗生物質 ピクシリン 250mg、10vial		4
	注射用蒸留水 20ml、50ampule		2
局所用薬品	消毒薬 イソジン液 250ml		10
	イソプロピル 500ml		4
	メッシュガーゼ ソフラチュール 10 × 10cm、10packs		4
	眼軟膏 テラマイシン眼軟膏 3.5g		20
皮膚局所用薬 強力レスタミンコーチゾン 10g		20	
その他	リンスキンL、40包		20
	カットバンM、100枚		4
	カットバンL、100枚		4
	防虫スプレー、100ml		10

イラン流入イラク避難民救済緊急援助隊 携行医療資機材リスト

	品名	仕様	数量
1	滅菌ガーゼ	7.5 × 7.5 100枚	2
2	伸縮包帯	N4タイプ 6.7 × 9 10巻入	2
3	プレスネット	NO.3	1
4	替刃メス	NO.10 20入	1
5	ディスポシリング	5ml 針付 100入	1
	ディスポシリング	10ml 針付 100入	1
6	ディスポニードル	21G 100入	1
	ディスポニードル	23G 100入	1
7	シルクブレード	NO.3 滅菌済白 35cm 10入 × 10	1
	シルクブレード	NO.4 滅菌済白 35cm 10入 × 10	1
8	手術用手袋	NO.6.5 滅菌済 20入	1
		NO.7 滅菌済 20入	1
9	マッシュー持針器	16cm	2
10	外科縫合針	今日湾 NO.3 角針 10入	10
	外科縫合針	今日湾 NO.5 角針 10入	10
	外科縫合針	今日湾 NO.3 丸針 10入	2
11	外科ピンセット	15cm	2
12	止血かん子	コッヘル 14cm 有直 14313	2
	止血かん子	ベアン 14.5cm 無直	2
	止血かん子	モスキート 12.5cm 有直	2
	止血かん子	モスキート 12.5cm 無直 14500	2
13	外科せん刀	BC314	1
	外科せん刀	BC324	1
14	聴診器	リットマンタイプ	3
15	電子体温計	病院用 MC-3B	5
16	タイコス血圧計	DR-A2	2
17	雑せん刀		1
18	ディスポマスク	MM-60	10
19	ノーボン	27cm	2
20	綿球入	14 × 7.5cm	2
21	サージカルテープ	NO.50 50mm × 9m 6巻入	1
22	血帯		2
23	輸液セット	TS-A450CK 50セット入	4
24	翼付針	22G 50本入	2
	翼付針	25G 50本入	2
25	綿球	滅菌済 20入	10

国際緊急援助隊イラン流入イラク避難民救済医療チーム第2次携行機材一覧

No.	資機材名 (ケース No.) (種別)	梱包大きさ (mm)	重量 (Kg)	備考
1	医薬品 (1) (緑)	450 × 700 × 300	2.6	ジュラルミン
2	〃 (2) (〃)	450 × 700 × 300	2.5	〃
3	〃 (3) (〃)	450 × 700 × 300	3.5	〃
4	〃 (4) (〃)	450 × 700 × 300	2.5	〃
5	〃 (5) (〃)	450 × 700 × 300	2.4	〃
6	〃 (6) (〃)	450 × 700 × 300	2.3	〃
7	〃 (7) (〃)	450 × 350 × 250	1.5	保冷箱
8	医療資材 (1) (赤)	450 × 700 × 300	2.5	ジュラルミン
9	〃 (2) (〃)	400 × 600 × 300	1.0	ダンボール
10	〃 (3) (〃)	600 × 550 × 600	1.7	〃
11	〃 (4) (〃)	450 × 700 × 300	2.1	ジュラルミン
12	〃 (5) (〃)	400 × 600 × 300	1.4	ダンボール
13	〃 (6) (〃)	600 × 450 × 500	1.2	〃
14	生活用資機材 (1) (黄)	450 × 700 × 300	3.2	ジュラルミン
15	〃 (2) (〃)	450 × 700 × 300	1.8	〃
16	〃 (3) (〃)	450 × 700 × 300	2.2	〃
17	〃 (4) (〃)	450 × 700 × 300	3.1	〃
18	オプション (1) (赤)	600 × 400 × 500	2.5	ダンボール
19	〃 (2) (〃)	600 × 400 × 500	2.1	〃
20	〃 (3) (〃)	800 × 100 × 100	3	エアキャップ
21	〃 (4) (黄)	650 × 450 × 550	3.0	〃
22	〃 (5) (〃)	450 × 700 × 300	2.2	ジュラルミン
23	〃 (6) (〃)	600 × 550 × 400	4.2	ダンボール
24	〃 (7) (〃)	600 × 500 × 600	2.3	〃
25	〃 (8) (赤)	400 × 350 × 400	1.0	〃
26	〃 (9) (〃)	400 × 350 × 400	1.0	〃
27	〃 (10) (〃)	600 × 400 × 500	3.2	〃
27カートン		2.704 M ³	593Kg	

J M T D R 医 薬 品
(緑 色)

Case No.	Item No.	一般名	商品名	規 格	数 量
1	1	重炭酸ナトリウム	メイロン	7% 50mlx5A	10
	2	エビネフリン	ボスミン	1% 1mlx20A	1
	3	硫酸アトロピン	硫酸アトロピン	0.5mg 1mlx10A	5
	4	1%塩酸リドカイン	1%キシロカイン	20ml	100
	5	ジアゼパム錠	セルシン錠	2mg100T	5
	6	ジアゼパム注	セルシン	2mlx10A	10
	7	10%フェノバルビタール	10%フェノバル	1mlx10A	5
	8	25%スルピリン	25%メチロン	1mlx100A	1
	9	ベンタゾシン	ベンタジン注	30mg 1mlx10A	5
	10	アスピリン	アスピリン	30T	10
	11	イブプロフェン	ブルフェン	100T	2
	12	デスラノシド	セジラニド	2mlx50A	1
	13	アミノフィリン	ネオフィリン	30A	2
	14	カルニゲン	カルニゲン	2mlx10A	2
	15	ニフェジピン	アダラート	10mg120cap.	10
	16	フロセミド	ラシックス	2mlx10A	5
2	17	スルファメトキサゾール+ トリメトプリム	バクタ	100T	5
	18	アンピシリン	ビクシリン	1gx10V	10
	19	アンピシリン	ビクシリン	250mgx100cap	5
	20	アンピシリン	ビクシリン ドライシロップ	1gx500P	1
	21	セファロチン・ナトリウム	ケフリン	1gx10V	10
	22	セファレキシン	L-ケフレックス	1gx100	2
	23	テトラサイクリン	アクロマイシンV	250mg100cap.	2
	24	クロラムフェニコール (注)	クロマイサクシネート	1gx1V	100
	25	クロラムフェニコール (錠)	クロマイ	250mg100T	5
	26	硫酸ストレプトマイシン	ストレプトマイシン	1gx10V	5
3	28	経口補水塩 (ORS)	(ORS)	5.250g (35g/人)	3
	29	ソディウムクロライド	塩化ナトリウム	20mlx50A	8

Case No.	Item No.	一般名	商品名	規格	数量
4	30	生理食塩水	生理食塩水	20mlx50A	8
	31	5%糖液	5%糖液	20mlx50A	4
	32	20%D- マンニトール	20% マンニトール	500mlx10V	1
	33	臭化ブチルスコボラミン	ブスコパン	10A	5
	34	胃腸薬	新三共胃腸薬	500T	1
	35	下剤	ラキソナリン	10T10 入	1
	36	止瀉剤	ロベミン	100cap	1
	37	塩酸ケタミン	ケタラール50	10mlx10V	1
	38	塩酸ケタミン	ケタラール10	20mlx10V	1
5	39	サイアミラール	イソゾール	0.5gx50A	1
	40	ニトラゼバム	ベンザリン	5mg100T	1
	41	塩酸ジブカイン	ベルカミンS	3ml10A	3
	42	塩酸リドカイン	キシロカインゼリー	30mlx5	2
	43	塩酸リドカイン	キシロカインスプレー	8%80g	5
	44	フマル酸クレマスチン	タベジール	1mg100T	1
	45	グルコン酸クロルヘキシジン	5%ヒビテン液	500ml	3
	46	ポビドンヨード	手術用イソジン液	250ml	8
	47	オキシドール	オキシフル	500ml	8
6	47	塩化ベンゼトニウム	ハイアミン液	500ml	5
	48	注射用蒸留水	注射用蒸留水	20mlx50	1
	49	テラコートリル	テラ・コートリル軟膏	25g	20
	50	リンデロンVG軟膏	リンデロンVG軟膏	30g	10
	51	クロタミトン	オイラックス	10g	10
	52	ワセリン	白色ワセリン	500g	1
	53	消毒用エタノール	消毒用エタノール	500ml	2
	54	クロラムフェニコール点眼液	点眼用クロマイ	500ml	1
	55	複合ビタミン剤	バンビタン錠	500T	1
	56	クレゾール	クレゾール	500ml	3
	57	パテックスハイ	パテックスハイ	12枚入	5
58	点眼びん	点眼びん	100 入	1	
59	マルチスティックス	マルチスティックス	100 枚入	1	
7	60	破傷風トキソイド (冷蔵)	破傷風トキソイド	10mlV	70
	61	インドメサシン (冷蔵)	インダシン坐薬	50mgx10	5

J M T D R 医療機材
(赤 色)

Case No.	Item No.	品 名	数 量
1	1	聴診器 リットマン型ステンレス	3
	2	小児用聴診器	2
	3	打診器 針ハケ付 大貫氏	2
	4	電子体温計 テルモ	5
	5	血圧計 タイコス DRA2	2
	6	小児用マンシエット 中、小	各1
	7	駆血帯 5m	1
	8	ペンライト MS	3
	9	ディスポ舌圧子 200 枚入	1
	10	心電計 ECG6201	
		ロールペーパー 10巻付	1
	11	メジャー 自動2m 布製	1
	12	綿子 ディスポ 咽鼻用100 本入	1
	13	持針器 マッチュー 16cm	2
	14	止血かん子	
		コッヘル有直 14cm B/L	2
	15	ペアン 無直 14cm B/L	2
	16	モスキート 有直 12.5cm B/L	2
	17	モスキート 無直 12.5cm B/L	2
	18	外科せん刀 両鈍反 14cm	1
	19	外科せん刀片尖反 14cm	2
	20	ピンセット 有鉤 13cm	2
	21	ピンセット 無鉤 13cm	2
	22	メスホルダー No. 3	2
	23	替刃メス 20枚入 No.15	1
	24	替刃メス 20枚入 No.11	1
	25	消息子18cm	1
	26	縫合糸 滅菌、シルクブレード No.3	500
	27	縫合針 外科用10本入 3.5.7	各 2
	28	有鉤消息子 ローゼル	1
	29	気管へん平鉤 単鋭鉤 03-001-21	1
		両鋭鉤 03-001-23	1
	30	縫合糸 滅菌、シルクブレード No. 5 & 7	各 500
	31	手術用手洗ブラシ	5
32	ディスポ手袋 100 枚入	5	
33	カルテ	100	
34	トリアージ タッグ	100	

Case No.	Item No.	品 名	数 量
2	35	手術用手袋 滅菌 6、7	各 40
		“ “ 6.5、7.5	各 60
3	36	輸液セット	200
	37	翼状針 21G、25G	各100
	38	活性炭入ディスクマスク 10枚入	10
	39	ディスク注射針つき 2.5cc、5cc、10cc	各100
		20cc	50
	40	ディスク注射針 21G x	100
		23G x	100
41	滅菌ガーゼ 30 x 25 cm ステラレーゼ	400	
4	42	滅菌シート 小 500 x 600	50
	43	消毒盤 27 x 21cm ステンレス	2
	44	ノーボン ステンレス 21cm	2
	45	手動式蘇生器 バックマスク No. 22000	1
	46	同 上 マスク 大、中、小	各1
	47	エアウェイ ポリ製	1
	48	手動吸引器 足踏式	1
	49	喉頭鏡 ハンドル	1
	50	同上 ブレード 大、中、小	各1
	51	気管内チューブ カフ付 7.8.8.5	各10
	52	同 上 カフなし 3.5.4.4.5.5.6	各3
	53	スタイレット	1
	54	開口器 エスマルヒ	1
	55	舌かん子コラン	1
	56	バイトブロック 大、小	各1
	57	吸引チューブ ネラトン Fr 4.6.8	各3
		同 上 ネラトン Fr 10.13	各4
	58	気管切開チューブFr 30、32、36、38	各2
	59	小ペアンモスキート 10.5cm無鈎	2
	60	胃管カテーテル E6、8	各10
	61	尿管カテーテル Fr 18.8	各10
	62	紙ばん創膏9m/m x 10m	40
	63	タオル	10
	64	ハルンカップ	100
	65	軽便カミソリ	20
	66	救急ばん Mサイズ 19 x 72m/m 200 枚入	1

Case No.	Item No.	品 名	数 量	
5	67	脱脂綿 未滅菌 500g	1	
	68	包帯伸縮 5.4 x 9m Nタイプ	10	
		9 x 9m Nタイプ	10	
	69	アルフェンスシーネ 2.3.4号	24	
	70	網包帯ニュースネット 2.3.6	各1	
	71	弾性包帯 Aタイプ		
		5cm x 4.5m	10本入	5
7.5cm x 4.5m		10本入	5	
		10cm x 4.5m	10本入	5
6	72	手術用ガウン LL:10、L:30、M:15	55	
	73	キャップ	100	

J M T D R 生活用資機材
(黄 色)

Case No.	Item No.	品 名	仕 様	数 量
1	1	強カライト (水中)	BF-151	2
	2	強カライト (蛍光灯付)	BF-769	2
	3	キャンドル用ランタン	CF-102	2
	4	補給用キャンドル	4本入	10
	5	トランジスターラジオ	ICF-7600A	1
	6	ウオークマン	WM-R15	1
	7	カセットテープ	120分	6
	8	双眼鏡		1
	9	3徳スコップ	T-3342	1
	10	電池	単I	100
		〃	単III	100
2	11	コッヘル	CA-002	1
	12	フライパン	CA-221	1
	13	やかん	CA-083	1
	14	まな板セット	CC-141	1
	15	アルミカップ		12
	16	食器セット (アルマイト)	T-3079	4
	17	プラスチックボール	T-3070	8
	18	はし	100本入	1
	19	布たわし		3
	20	ふきん		5
	21	ポリタン	5ℓ	2
	22	〃	10ℓ	2
	23	ビニールバケツ	15ℓ	4
	24	缶切り		1
	25	中性洗剤		1
	26	クレンザー		1
	27	タオル		5
3	28	ティッシュペーパー		7
	29	トイレットペーパー		20
	30	石鹼	ミューズ	12
	31	粉石鹼	4g 120袋入	3
	32	大工セット		1
	33	裁縫セット		1
	34	ほうき		1
	35	マッチ		5

Case No.	Item No.	品名	仕様	数量
4	36	文房具セット		1
	37	ミニ文房具セット		2
	38	乾湿温度計		1
	39	ボールペン	黒、赤、青	各15
	40	マジック	7色入	1
	41	〃	大、中	7
	42	ノート	B5	5
	43	レポート用紙		4
	44	用せんバサミ		12
	45	セロテープ		2
	46	のり	スティック	5
	47	接着剤		5
	48	チョーク	白、赤	各12
	49	タッグタイトル	10袋	1
	50	カラーテープ	3色	5
	51	封筒	大、中、小	各10
	52	クリップ	大、小	各1
	53	電卓		2
	54	ガムテープ		5
	55	ビニールひも		1
	56	輪ゴム		1
	57	カメラ		1
	58	フィルム	36枚	30
	59	アーミーナイフ		2
60	ポリ袋	大、中、小	各100	
61	軍手		24	
62	防水スプレー	スコッチガード	2	
63	ろ水器	真清水	4	
64	国旗		2	

JMTDR オプション (イラン)

Case No.	Item No.	品 名	数 量
Op1	1	ギブス スコッチキャスト 10 入 5インチ	5
	2	ギブス スコッチキャスト 10 入 4インチ	3
Op2	2	ギブス スコッチキャスト 10 入 4インチ	2
	3	ギブス スコッチキャスト 10 入 3インチ	5
	4	弾性包帯 Aタイプ 10x4.5m 10入	2
	5	ギブスシートB 13.5x4.5m 30入	1
Op3	6	クラーメル副子 大 90x750mm	10
	7	クラーメル副子 中 75x600mm	10
	8	クラーメル副子 小 60x450mm	10
Op4	9	リュックサック	7
	10	水筒	4
	11	Gバック	10
	12	ヘッドランプ	13
Op5	13	トランシーバー	4
	14	ラジオ	1
	15	水筒	8
Op6	16	トレッキングシューズ	4
	17	ホカロン	360
	18	リンスキン 40入	20
Op7	19	ダウンジャケット	10
	20	ダウンパンツ	20
Op8	21	ドクターズキット	1
Op9	21	ドクターズキット	1
Op10	22	作業着 (M.L.LL)	各20

イラン援助隊携行リスト (テント等)

Case No.	Item No.	品名	数量
1	1	テント付属品	1
	2	折畳ベッド	4
	3	折畳デスク	1
	4	シャワーキット	1
	5	トイレ用テント	1
	6	寝袋	5
	7	カーテン	2
2	8	蛍光灯 (40W×2)	1
	9	コードリール	1
	10	折畳ベッド	2
	11	折畳デスク	2
	12	シャワーキット	1
	13	トイレ用テント	1
	14	寝袋	5
	15	折畳椅子	4
3	16	蛍光灯 (40W×2)	1
	17	折畳ベッド	3
	18	折畳デスク	1
	19	テント付属品	2
	20	缶 (携行燃料用)	2
	21	寝袋	5
4	22	発電機 3KVA	1
5	23	テントセット	1
	24	キャスター	1

Case No.	Item No.	品 名	数 量
6	25	テントセット	1
	26	キャスター	1
7	27	煮沸用滅菌器	1
	28	滅菌器用トランス	1
	29	滅菌器用発電機 GA1600	1
	30	コードリール	1
8	31	リヤカー	1
9	32	リヤカー	1

国際緊急援助隊イラン流入イラク避難民救済第3次医療チーム携行機材一覧

NO. 1

通 番	資機材名 (ケース No.) (種別)	梱包大きさ (mm)	重 量 (kg)	備 考
1	医薬品 (1) (緑)	450 × 700 × 300	26	シュラムシ
2	〃 (2) (〃)	450 × 700 × 300	25	〃
3	〃 (3) (〃)	450 × 700 × 300	35	〃
4	〃 (4) (〃)	450 × 700 × 300	25	〃
5	〃 (5) (〃)	450 × 700 × 300	24	〃
6	〃 (6) (〃)	450 × 700 × 300	23	〃
7	〃 (7) (〃)	450 × 350 × 250	15	保冷箱
8	〃 (M1) (〃)	450 × 700 × 300	26	シュラムシ
9	〃 (M2) (〃)	450 × 700 × 300	25	〃
10	〃 (M3) (〃)	450 × 700 × 300	35	〃
11	〃 (M4) (〃)	450 × 700 × 300	25	〃
12	〃 (M5) (〃)	450 × 700 × 300	24	〃
13	〃 (M6) (〃)	450 × 700 × 300	23	〃
14	〃 (M7) (〃)	450 × 350 × 250	15	保冷箱
15	医療資材 (1) (赤)	450 × 700 × 300	25	シュラムシ
16	〃 (2) (〃)	400 × 600 × 300	10	ダボール
17	〃 (3) (〃)	600 × 550 × 600	17	〃
18	〃 (4) (〃)	450 × 700 × 300	21	シュラムシ
19	〃 (5) (〃)	400 × 600 × 300	14	ダボール
20	〃 (6) (〃)	600 × 450 × 500	12	〃
21	〃 (M1) (〃)	450 × 700 × 300	25	シュラムシ
22	〃 (M2) (〃)	400 × 600 × 300	10	ダボール
23	〃 (M3) (〃)	600 × 550 × 600	17	〃
24	〃 (M4) (〃)	450 × 700 × 300	21	シュラムシ
25	〃 (M5) (〃)	400 × 600 × 300	14	ダボール
26	〃 (M6) (〃)	600 × 450 × 500	12	〃
27	生活用資機材 (1) (黄)	450 × 700 × 300	32	シュラムシ
28	(2) (〃)	450 × 700 × 300	31	〃

通 番	資機材名 (ケース No.) (種別)	梱包大きさ (mm)	重 量 (Kg)	備 考
29	オプション (1) (緑)	440 × 670 × 540	5.5	ダンボール
30	〃 (2) (〃)	440 × 670 × 540	3.7	〃
31	〃 (3) (〃)	580 × 790 × 680	4.7	〃
32	〃 (4) (〃)	440 × 670 × 540	5.5	〃
33	〃 (5) (〃)	440 × 670 × 540	5.4	〃
34	〃 (6) (〃)	440 × 670 × 540	4.7	〃
35	オプション (1) (赤)	600 × 400 × 500	2.5	〃
36	〃 (2) (〃)	600 × 400 × 500	2.1	〃
37	〃 (3) (〃)	800 × 100 × 100	3	エアキャップ
38	〃 (4) (〃)	600 × 400 × 500	3.2	ダンボール
39	〃 (5) (〃)	400 × 350 × 400	1.0	〃
40	〃 (6) (〃)	400 × 350 × 400	1.0	〃
41	〃 (M1) (〃)	600 × 400 × 500	2.5	〃
42	〃 (M2) (〃)	600 × 400 × 500	2.1	〃
43	〃 (M3) (〃)	800 × 100 × 100	3	エアキャップ
44	〃 (M4) (〃)	600 × 400 × 500	3.2	ダンボール
45	〃 (M5) (〃)	400 × 350 × 400	1.0	〃
46	〃 (M6) (〃)	400 × 350 × 400	1.0	〃
47	〃 (7) (〃)	590 × 530 × 610	2.3	〃
48	〃 (8) (〃)	570 × 380 × 620	1.7	〃
49	〃 (9) (〃)	350 × 420 × 230	1.0	〃
50	オプション (1) (黄)	630 × 390 × 400	3.5	〃
51	〃 (2) (〃)	630 × 390 × 400	2.7	〃
52	〃 (3) (〃)	630 × 390 × 400	1.0	〃
53	〃 (4) (〃)	630 × 390 × 400	3.5	〃
54	〃 (5) (〃)	740 × 470 × 390	2.9	〃
55	〃 (6) (〃)	770 × 560 × 490	4.0	〃
56	〃 (7) (〃)	480 × 250 × 250	1.2	〃
57	〃 (8) (〃)	520 × 400 × 530	4.8	〃
58	〃 (9) (〃)	520 × 400 × 530	4.8	〃
58カートン		6,150665M ³	1438Kg	

J M T D R 医薬品
(緑 色)

通番 No.	Item No.	一般名	商品名	規 格	数 量
1	1	重炭酸ナトリウム	メイロン	7% 50mlx5A	10
	2	エビネフリン	ホスミン	1% 1mlx20A	1
	3	硫酸アトロピン	硫酸アトロピン	0.5mg 1mlx10A	5
	4	1%塩酸リドカイン	1%キシロカイン	20ml	100
	5	ジアゼパム錠	セルシン錠	2mg100T	5
	6	ジアゼパム注	セルシン	2mlx10A	10
	7	10%フェノバルビタール	10%フェノバル	1mlx10A	5
	8	25%スルピリン	25%メチロン	1mlx100A	1
	9	ベンタゾシン	ベンタジン注	30mg 1mlx10A	5
	10	アスピリン	アスピリン	30T	10
	11	イブプロフェン	ブルフェン	100T	2
	12	デスラノシド	セジラニド	2mlx50A	1
	13	アミノフィリン	ネオフィリン	30A	2
	14	カルニゲン	カルニゲン	2mlx10A	2
	15	ニフェジピン	アダラート	10mg120cap.	10
	16	フロセミド	ラシックス	2mlx10A	5
2	17	スルファメトキサゾール+ トリメトプリム	バクタ	100T	5
	18	アンピシリン	ピクシリン	1gx10V	10
	19	アンピシリン	ピクシリン	250mgx100cap	5
	20	アンピシリン	ピクシリン ドライシロップ	1gx500P	1
	21	セファロチン・ナトリウム	ケフリン	1gx10V	10
	22	セファレキシム	L-ケフレックス	1gx100	2
	23	テトラサイクリン	アクロマイシンV	250mg100cap.	2
	24	クロラムフェニコール (注)	クロマイサクシネート	1gx1V	100
	25	クロラムフェニコール (錠)	クロマイ	250mg100T	5
	26	硫酸ストレプトマイシン	ストレプトマイシン	1gx10V	5
3	28	経口補水塩 (ORS)	(ORS)	5.250g (35g/人)	3
	29	ソディウムクロライド	塩化ナトリウム	20mlx50A	8

通番 No.	Item No.	一般名	商品名	規格	数量
4	30	生理食塩水	生理食塩水	20mlx50A	8
	31	5%糖液	5%糖液	20mlx50A	4
	32	20%D- マンニトール	20% マンニトール	500mlx10V	1
	33	臭化ブチルスコポラミン	ブスコパン	10A	5
	34	胃腸薬	新三共胃腸薬	500T	1
	35	下剤	ラキソナリン	10T10 入	1
	36	止瀉剤	ロベミン	100cap	1
	37	塩酸ケタミン	ケタラール50	10mlx10V	1
	38	塩酸ケタミン	ケタラール10	20mlx10V	1
5	39	サイアミラール	イソゾール	0.5gx50A	1
	40	ニトラゼパム	ベンザリン	5mg100T	1
	41	塩酸ジブカイン	ベルカミンS	3ml10A	3
	42	塩酸リドカイン	キシロカインゼリー	30mlx5	2
	43	塩酸リドカイン	キシロカインスプレー	8%80g	5
	44	フマル酸クレマスチン	タベジール	1mg100T	1
	45	グルコン酸クロルヘキシジン	5%ヒビテン液	500ml	3
	46	ポビドンヨード	手術用イソジン液	250ml	8
	47	オキシドール	オキシフル	500ml	8
6	48	塩化ベンゼトニウム	ハイアミン液	500ml	5
	49	注射用蒸留水	注射用蒸留水	20mlx50	1
	50	テラコートリル	テラ・コートリル軟膏	25g	20
	51	リンデロンVG軟膏	リンデロンVG軟膏	30g	10
	52	クロタミトン	オイラックス	10g	10
	53	ワセリン	白色ワセリン	500g	1
	54	消毒用エタノール	消毒用エタノール	500ml	2
	55	クロラムフェニコール点眼液	点眼用クロマイ	500ml	1
	56	複合ビタミン剤	バンビタン錠	500T	1
	57	クレゾール	クレゾール	500ml	3
	58	パテックスハイ	パテックスハイ	12枚入	5
	59	点眼びん	点眼びん	100 入	1
	60	マルチスティックス	マルチスティックス	100 枚入	1
	61	メトロニタゾール	フラジール	100 錠入	10
62	ウェルバス (プラスチックボトル)		1L入	2	
7	63	破傷風トキソイド (冷蔵)	破傷風トキソイド	10mlV	70
	64	インドメサシン (冷蔵)	インダシン坐薬	50mgx10	5

通番 No.	Item No.	一般名	商品名	規 格	数 量
8	1	重炭酸ナトリウム	メイロン	7% 50mlx5A	10
	2	エピネフリン	ボスミン	1% 1mlx20A	1
	3	硫酸アトロピン	硫酸アトロピン	0.5mg 1mlx10A	5
	4	1%塩酸リドカイン	1%キシロカイン	20ml	100
	5	ジアゼパム錠	セルシン錠	2mg100T	5
	6	ジアゼパム注	セルシン	2mlx10A	10
	7	10%フェノバルビタール	10%フェノバル	1mlx10A	5
	8	25%スルピリン	25%メチロン	1mlx100A	1
	9	ペンタゾシン	ペンタジン注	30mg 1mlx10A	5
	10	アスピリン	アスピリン	30T	10
	11	イブプロフェン	ブルフェン	100T	2
	12	デスラノシド	セジラニド	2mlx50A	1
	13	アミノフィリン	ネオフィリン	30A	2
	14	カルニゲン	カルニゲン	2mlx10A	2
	15	ニフェジピン	アダラート	10mg120cap.	10
	16	フロセミド	ラシックス	2mlx10A	5
9	17	スルファメトキサゾール+ トリメトプリム	バクタ	100T	5
	18	アンピシリン	ビクシリン	1gx10V	10
	19	アンピシリン	ビクシリン	250mgx100cap	5
	20	アンピシリン	ビクシリン ドライシロップ	1gx500P	1
	21	セファロチン・ナトリウム	ケフリン	1gx10V	10
	22	セファレキシム	L-ケフレックス	1gx100	2
	23	テトラサイクリン	アクロマイシンV	250mg100cap.	2
	24	クロラムフェニコール (注)	クロマイサクシネート	1gx1V	100
	25	クロラムフェニコール (錠)	クロマイ	250mg100T	5
	26	硫酸ストレプトマイシン	ストレプトマイシン	1gx10V	5
10	28	経口補水塩 (ORS)	(ORS)	5.250g (35g/人)	3
	29	ソディウムクロライド	塩化ナトリウム	20mlx50A	8

通番 No.	Item No.	一般名	商品名	規格	数量
1 1	3 0	生理食塩水	生理食塩水	20mlx50A	8
	3 1	5%糖液	5%糖液	20mlx50A	4
	3 2	20%D- マンニトール	20% マンニトール	500mlx10V	1
	3 3	臭化ブチルスコポラミン	ブスコパン	10A	5
	3 4	胃腸薬	新三共胃腸薬	500T	1
	3 5	下剤	ラキソナリン	10T10 入	1
	3 6	止瀉剤	ロベミン	100cap	1
	3 7	塩酸ケタミン	ケタラール5 0	10mlx10V	1
	3 8	塩酸ケタミン	ケタラール1 0	20mlx10V	1
1 2	3 9	サイアミラール	イソゾール	0.5gx50A	1
	4 0	ニトラゼバム	ベンザリン	5mg100T	1
	4 1	塩酸ジブカイン	ベルカミンS	3ml10A	3
	4 2	塩酸リドカイン	キシロカインゼリー	30mlx5	2
	4 3	塩酸リドカイン	キシロカインスプレー	8%80g	5
	4 4	フマル酸クレマスチン	タベジール	1mg100T	1
	4 5	グルコン酸クロルヘキシジン	5%ヒビテン液	500ml	3
	4 6	ポビドンヨード	手術用イソジン液	250ml	8
	4 7	オキシドール	オキシフル	500ml	8
1 3	4 8	塩化ベンゼトニウム	ハイアミン液	500ml	5
	4 9	注射用蒸留水	注射用蒸留水	20mlx50	1
	5 0	テラコートリル	テラ・コートリル軟膏	25g	20
	5 1	リンデロンVG軟膏	リンデロンVG軟膏	30g	10
	5 2	クロタミトン	オイラックス	10g	10
	5 3	ワセリン	白色ワセリン	500g	1
	5 4	消毒用エタノール	消毒用エタノール	500ml	2
	5 5	クロラムフェニコール点眼液	点眼用クロマイ	500ml	1
	5 6	複合ビタミン剤	バンビタン錠	500T	1
	5 7	クレゾール	クレゾール	500ml	3
	5 8	パテックスハイ	パテックスハイ	12枚入	5
	5 9	点眼びん	点眼びん	100 入	1
	6 0	マルチスティックス	マルチスティックス	100 枚入	1
4	6 3	破傷風トキソイド (冷蔵)	破傷風トキソイド	10mlV	70
	6 4	インドメサシン (冷蔵)	インダシン坐薬	50mgx10	5

J M T D R 医療機材
(赤 色)

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
15	1	聴診器 リットマン型ステンレス	3
	2	小児用聴診器	2
	3	打診器 針ハケ付 大貫氏	2
	4	電子体温計 テルモ	5
	5	血圧計 タイコス DRA2	2
	6	小児用マンシエット 中、小	各1
	7	駆血帯 5m	1
	8	ペンライト MS	3
	9	ディスボ舌圧子 200 枚入	1
	10	心電計 ECG6201 ロールペーパー 10巻付	1
	11	メジャー 自動2m 布製	1
	12	綿子 ディスボ 咽鼻用100 本入	1
	13	持針器 マッチュー 16cm	2
	14	止血かん子	
		コッヘル有直 14cm B/L	2
	15	ペアン 無直 14cm B/L	2
	16	モスキート 有直 12.5cm B/L	2
	17	モスキート 無直 12.5cm B/L	2
	18	外科せん刀 両鈍反 14cm	1
	19	外科せん刀片尖反 14cm	2
	20	ピンセット 有鉤 13cm	2
	21	ピンセット 無鉤 13cm	2
	22	メスホルダー No. 3	2
	23	替刃メス 20枚入 No.15	1
	24	替刃メス 20枚入 No.11	1
	25	消息子18cm	1
	26	縫合糸 滅菌、シルクブレード No.3	500
	27	縫合針 外科用10本入 3.5,7	各 2
	28	有鉤消息子 ローゼル	1
	29	気管へん平鉤 単鋭鉤 03-001-21 両鋭鉤 03-001-23	1 1
	30	縫合糸 滅菌、シルクブレード No. 5 & 7	各 500
	31	手術用手洗ブラシ	5
	32	ディスボ手袋 100 枚入	5
	33	カルテ	100
34	トリアージ タッグ	100	

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
16	35	手術用手袋 滅菌 6、7	各 40
		〃 〃 6.5、7.5	各 60
17	36	輸液セット	200
	37	翼状針 21G、25G	各100
	38	活性炭入ディスボマスク 10枚入	10
	39	ディスボ注射針つき 2.5cc、5cc、10cc	各100
		20cc	50
	40	ディスボ注射針 21G x	100
		23G x	100
41	滅菌ガーゼ 30 x 25 cm ステラーゼ	400	
18	42	滅菌シート 小 500 x 600	50
	43	消毒盤 27 x 21cm ステンレス	2
	44	ノーボン ステンレス 21cm	2
	45	手動式蘇生器 バックマスク No. 22000	1
	46	同 上 マスク 大、中、小	各1
	47	エアウェイ ポリ製	1
	48	手動吸引器 足踏式	1
	49	喉頭鏡 ハンドル	1
	50	同上 ブレード 大、中、小	各1
	51	気管内チューブ カフ付 7.8、8.5	各10
	52	同 上 カフなし 3.5、4、4.5、5、6	各3
	53	スタイレット	1
	54	開口器 エスマルヒ	1
	55	舌かん子コラン	1
	56	バイトブロック 大、小	各1
	57	吸引チューブ ネラトン Fr 4、6、8	各3
		同 上 ネラトン Fr 10、13	各4
	58	気管切開チューブFr 30、32、36、38	各2
	59	小ベアンモスキート 10.5cm無鈎	2
	60	胃管カテーテル E6、8	各10
	61	尿バルンカテーテル Fr 18、8	各10
	62	紙ばん創膏9m/m x 10m	40
63	タオル	10	
64	ハルンカップ	100	
65	軽便カミソリ	20	
66	救急ばん Mサイズ 19 x 72m/m 200 枚入	1	

通番 No.	Item No.	品 名	数 量	
19	67	脱脂綿 未滅菌 500g	1	
	68	包帯伸縮 5.4 x 9m Nタイプ	10	
		9 x 9m Nタイプ	10	
	69	アルフェンスシーネ 2,3,4号	24	
	70	網包帯ニュースネット 2,3,6	各1	
	71	弾性包帯 Aタイプ		
		5cm x 4.5m	10本入	5
7.5cm x 4.5m		10本入	5	
		10cm x 4.5m	10本入	5
20	72	手術用ガウン LL:10、L:30、M:15	55	
	73	キャップ	100	

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
21	1	聴診器 リットマン型ステンレス	3
	2	小児用聴診器	2
	3	打診器 針ハケ付 大貫氏	2
	4	電子体温計 テルモ	5
	5	血圧計 タイコス DRA2	2
	6	小児用マンシエット 中、小	各1
	7	駆血帯 5m	1
	8	ペンライト MS	3
	9	ディスポ舌圧子 200枚入	1
	10	心電計 ECG6201 ロールペーパー 10巻付	1
	11	メジャー 自動2m 布製	1
	12	綿子 ディスポ 咽鼻用100本入	1
	13	持針器 マッチュー 16cm	2
	14	止血かん子 コッヘル有直 14cm B/L	2
	15	ペアン 無直 14cm B/L	2
	16	モスキート 有直 12.5cm B/L	2
	17	モスキート 無直 12.5cm B/L	2
	18	外科せん刀 両鈍反 14cm	1
	19	外科せん刀片尖反 14cm	2
	20	ピンセット 有鉤 13cm	2
	21	ピンセット 無鉤 13cm	2
	22	メスホルダー No. 3	2
	23	替刃メス 20枚入 No.15	1
	24	替刃メス 20枚入 No.11	1
	25	消息子18cm	1
	26	縫合糸 滅菌、シルクブレード No.3	500
	27	縫合針 外科用10本入 3,5,7	各 2
	28	有鉤消息子 ローゼル	1
	29	気管へん平鉤 単鋭鉤 03-001-21 両鋭鉤 03-001-23	1 1
	30	縫合糸 滅菌、シルクブレード No. 5 & 7	各 500
	31	手術用手洗ブラシ	5
	32	ディスポ手袋 100枚入	5
	33	カルテ	100
	34	トリアージ タッグ	100

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
2 2	3 5	手術用手袋 滅菌 6、7	各 40
		” ” 6.5、7.5	各 60
2 3	3 6	輸液セット	200
	3 7	翼状針 21G、25G	各100
	3 8	活性炭入ディスポマスク 10枚入	10
	3 9	ディスポ注射針つき 2.5cc、5cc、10cc	各100
		20cc	50
	4 0	ディスポ注射針 21G x	100
		23G x	100
4 1	滅菌ガーゼ 30 x 25 cm ステラーゼ	400	
2 4	4 2	滅菌シート 小 500 x 600	50
	4 3	消毒盤 27 x 21cm ステンレス	2
	4 4	ノーボン ステンレス 21cm	2
	4 5	手動式蘇生器 バックマスク No. 22000	1
	4 6	同 上 マスク 大、中、小	各1
	4 7	エアウェイ ポリ製	1
	4 8	手動吸引器 足踏式	1
	4 9	喉頭鏡 ハンドル	1
	5 0	同上 ブレード 大、中、小	各1
	5 1	気管内チューブ カフ付 7.8、8.5	各10
	5 2	同 上 カフなし 3.5、4、4.5、5.6	各3
	5 3	スタイレット	1
	5 4	開口器 エスマルヒ	1
	5 5	舌かん子コラン	1
	5 6	バイトブロック 大、小	各1
	5 7	吸引チューブ ネラトン Fr 4、6、8	各3
		同 上 ネラトン Fr 10、13	各4
	5 8	気管切開チューブFr 30、32、36、38	各2
	5 9	小ペアンモスキート 10.5cm無鈎	2
	6 0	胃管カテーテル E 6、8	各10
	6 1	尿管バルンカテーテル Fr 18、8	各10
	6 2	紙ばん創膏9m/m x 10m	40
	6 3	タオル	10
	6 4	ハルンカップ	100
	6 5	軽便カミソリ	20
	6 6	救急ばん Mサイズ 19 x 72m/m 200 枚入	1

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
25	67	脱脂綿 未滅菌 500g	1
	68	包帯伸縮 5.4 x 9m Nタイプ	10
		9 x 9m Nタイプ	10
	69	アルフェンスシーネ 2,3,4号	24
	70	網包帯ニュースネット 2,3,6	各1
	71	弾性包帯 Aタイプ	
		5cm x 4.5m 10本入	5
7.5cm x 4.5m 10本入		5	
		10cm x 4.5m 10本入	5
26	72	手術用ガウン LL:10、L:30、M:15	55
	73	キャップ	100

J M T D R 生活用資機材
(黄 色)

通番 No.	Item No.	品 名	仕 様	数 量	
27	1	強力ライト (水中)	BF-151	2	
	2	強力ライト (蛍光灯付)	BF-769	2	
	3	キャンドル用ランタン	CF-102	2	
	4	補給用キャンドル	4本入	10	
	5	淨衣剤		2	
	10	電池	単I	100	
		〃	単III	100	
	11	はし	100本入	1	
	28	12	文房具セット		1
		13	ミニ文房具セット		2
		14	乾湿温度計		1
15		ボールペン	黒、赤、青	各15	
16		マジック	7色入	1	
17		〃	大、中	7	
18		ノート	B5	5	
19		レポート用紙		4	
20		用せんバサミ		12	
21		セロテープ		2	
22		のり	スティック	5	
23		接着剤		5	
24		チョーク	白、赤	各12	
25		タッグタイトル	10袋	1	
26		カラーテープ	3色	5	
27		封筒	大、中、小	各10	
28		クリップ	大、小	各1	
29		電卓		2	
30		ガムテープ		5	
31		ビニールひも		1	
32		輪ゴム		1	
33		カメラ		1	
34		フィルム	36枚	30	
35		アーミーナイフ		2	
36		ポリ袋	大、中、小	各100	
37		軍手		24	
38		防水スプレー	スコッチガード	2	
39		ろ水器	真清水	4	
40		国旗		2	

MEDICINES (BASIC)

No	GENERAL NAME	QUANTITY	UNIT
----	--------------	----------	------

通番 29 オプション(1)

1	Acetylsalicylic acid, tabl. 500 mg	9,000 tabl.	300
2	Mebendazole, tabl. 100 mg	300 tabl.	50
3	Sulfamethoxazole + trimethoprim, tabl. 400 + 80 mg	6,000 tabl.	60
4	Ferrous sulfate, tabl. 525 mg	3,000 tabl.	6
5	Tetracycline eye ointment 1%, tube 3.5 gr	150 tube.	150
6	Oral rehydration salts for 1ℓ, sachet	1,000 sach.	1,000
7	Gentian violet, powdr. 25gr	12 bott.	12
8	Chlorhexidine 5% bottle 500 ml	3 bott.	3

C/no. 30 オプション(2)

1	Pentazocine, inj. 30 mg 1 ml, amp.	50 amp.	1
2	Probenecid, tabl. 250 mg	500 tabl.	1
3	Diazepam, inj. 10 mg 2 ml, amp.	50 amp.	5
4	Phenobarbital, tabl. 30 mg	1,000 tabl.	1
5	Ampicillin, tabl. 250 mg	2,000 tabl.	4
6	Ampicillin, inj. 500 mg, vial	100 vials	10
7	Phenoxyethylpenicillin, tabl. 200,000 IU	4,000 tabl.	8
8	Nystatin, (for use of the mouth) 500,000 IU	400 tabl.	4
9	Lysol (saponated cresol solution), bottle 500 ml	8 bott.	8
10	Frosemide, inj. 20 mg 2 ml, amp.	20 amp.	2
11	Promethazine, tabl. 25 mg	500 tabl.	5
12	Metoclopramide, inj. 10 mg 2 ml, amp.	50 amp.	1
13	Glucose, inj. sol. 50 % amp. 20 ml	50 amp.	1
14	Isotonic sodium chloride, inj. sol. 20 ml	100 amp.	2
15	Ketamine, inj. 500 mg 10 ml, vial	10 vials	1
16	Lidocaine, inj. 1 %, vial 20 ml	50 vials	50
17	Povidone iodine 10 %, sol. bottle 250 ml	8 bott.	8
19	Atropine, inj. 0.5 mg 1 ml, amp.	50 amp.	1
20	Epinephrine (adrenaline), inj. 0.1 % 1 ml, amp.	60 amp.	3
21	Dexamethesone, inj. 5 mg 1 ml, amp.	50 amp.	1
22	Prednisolone, tabl. 5 mg	500 tabl.	1
23	Metronidazole, tabl. 250 mg	1,000 tabl.	10
24	Chloramphenicol, tabl. 250 mg	2,000 tabl.	20
25	Tetracycline, caps. 250 mg	2,000 cap.	20
27	Sulfadoxine + pyrimethamine, tabl. 500 mg + 25 mg	300 tabl.	25

28	Methyldopa, tabl. 250 mg	500 tabl.	1
		50 amp.	1
29	Chlorpromazine, inj. 25 mg 5 ml, amp.	1,000 tabl.	2
30	Aminophylline, tabl. 100 mg	60 amp.	2
31	Aminophylline, inj. 250 mg 10 ml, amp.	2,000 tabl.	2
32	Retinol (vitamin A), tabl. 10,000 IU	500 tabl.	5
33	Ascorbic acid, tabl. 200 mg		

通番 31 オプション(3)

1	Chloramphenicol, inj. 1 g, vial	500 vial.	500
---	---------------------------------	-----------	-----

通番 32 オプション(4)

1	Compound solution of sodium lactate (Ringer's lactate), inj. sol. 500 ml	90 bott.	90
---	---	----------	----

通番 33 オプション(5)

1	Compound solution of sodium lactate (Ringer's lactate), inj. sol. 500 ml	90 bott.	90
---	---	----------	----

通番 34 オプション(6)

1	Compound solution of sodium lactate (Ringer's lactate), inj. sol. 500 ml	20 bott.	20
2	Glucose, inj. sol. 5 % bott. 500 ml	50 bott.	5

J M T D R オプション (イラン)
医療資材 (赤)

通番 No.	Item No.	品 名	数 量
35	1	ギブス スコッチキャスト 10入 5インチ	5
	2	ギブス スコッチキャスト 10入 4インチ	3
36	2	ギブス スコッチキャスト 10入 4インチ	2
	3	ギブス スコッチキャスト 10入 3インチ	5
	4	弾性包帯 Aタイプ 10x4.5m 10入	2
	5	ギブスシートB 13.5x4.5m 30入	1
37	6	クラーメル副子 大 90x750mm	10
	7	クラーメル副子 中 75x600mm	10
	8	クラーメル副子 小 60x450mm	10
38	9	作業着 (M,L,LL)	各20
39	10	ドクターズキット	1
40	10	ドクターズキット	1
41	M1	ギブス スコッチキャスト 10入 5インチ	5
		ギブス スコッチキャスト 10入 4インチ	3
42	M2	ギブス スコッチキャスト 10入 4インチ	2
		ギブス スコッチキャスト 10入 3インチ	5
		弾性包帯 Aタイプ 10x4.5m 10入	2
		ギブスシートB 13.5x4.5m 30入	1
43	M3	クラーメル副子 大 90x750mm	10
		クラーメル副子 中 75x600mm	10
		クラーメル副子 小 60x450mm	10
44	M4	作業着 (M,L,LL)	各20
45	M5	ドクターズキット	1
46	M6	ドクターズキット	1

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
P.O. Box 216, Mitsui bldg. Shinjuku-ku, Tokyo, Japan.

C/Nos.	Description of Goods	Quantity	Weight		Measurement
			net	gross	
47	OP-7			23 kg	590*530*610 =0.190M3
11.	Gauze, Sterilized, 7.5 x 7.5cm, 100 sheets/box	5 bxs.			
12.	Absorbent cotton, 500g	2 pcs.			
13.	Surgical Tape, 9mm x 10m, 10 pcs./box	2 bxs.			
14.	Scissors, straight, 14.5cm, BC 314	1 pc.			
	Scissors, curved, 14.5cm, BC 414	1 pc.			
15.	Hemostatic Forceps, 14 cm, BH 144M	2 pcs.			
16.	Forceps, non-tooth, 14.5cm, BD 47	2 pcs.			
17.	Clinical Thermeter, oral type.	10 pcs.			
18.	Washing bottle, 1000ml, PE	2 pcs.			
19.	Disposable Syringe, 10 ml, w/needle	2 pcs.			
20.	Automatic Measure, 2m	2 pcs.			
21.	Brush, A-12, 12 pcs./dz	1 dz.			
22.	Soap.	10 pcs.			
24.	Disposable Glove, 8.0, 20 pairs/box	5 bxs.			
25.	Pus Basin, 27cm	2 pcs.			
35.	Disposable Infusion Set, TS-A450CK, 50 pcs./box	5 bxs.			
37.	Winged Infusion Set, 29G, 50 set/box	4 bxs.			
	- ditto -, 21G, 50 set/box	6 bxs.			
	Disposable Needle, 22G, 100 pcs./box	10 bxs.			
48	OP-8			17 kg	570*380*620 =0.134M3
9.	Bandages, U7.5, 10 pcs./box	4 bxs.			
10.	- ditto -, W7.5, 20 pcs./box	1 bx.			
23.	Uni-pack, E-4, 200 sheet/pack	15 pks.			
26.	Stainless Tray, HM-4, 30cm				
	Glass Syringe, 3ml, 12 pcs./dz.	2 dz.			
39.	- ditto -, 5ml, 12 pcs./dz.	10 dz.			
40.	- ditto -, 10ml, 12 pcs./dz.	2 dz.			
41.	Rubber Catheter, No.4	20 pcs.			
42.	- ditto -, No.6	10 pcs.			